

札幌演劇シーズン2021- 夏 来場者アンケート 報告書

2021年9月17日

関鎮京

北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツビジネス専攻 芸術文化政策研究室 准教授

平山紗也華

北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツビジネス専攻 芸術文化政策研究室 4年生



調査の目的と要約

調査の目的

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、今回の調査の目的は、「札幌演劇シーズン2021-夏」来場者の作品に対する満足度と行動の実態を明らかにすることである。

そのため、

- ①作品の満足度
- ②鑑賞作品の過去の観劇経験有無
- ③鑑賞団体の過去の観劇経験有無
- ④これまでの演劇鑑賞の有無
- ⑤演劇シーズンの観劇経験の有無
- ⑥演劇シーズンの情報入手源
- ⑦来場動機

を基本柱とし、調査を実施した。

調査の要約

【演劇シーズンの成果】

▶演劇シーズンの満足度について、どの作品も「とてもよかった」「まあまあよかった」の合計が85%を超えており、高い満足度を得た。

▶鑑賞作品の過去の観劇経験有無について、「私の名前は、山田タロス。」は過去に観劇した人が40%を占め、再演が特徴の札幌演劇シーズンにリピーターが足を運んでくれている。

▶来場者の中で演劇を初めて観た人が11%を占め、年齢層を見ると10代から30代が多い。

加えて、演劇シーズンを初めて観た人は40%である。

【課題】

▶演劇シーズンを「知らなかった」人が25%を占める。そのうち、10代・20代を合わせて51%であり、若い年代の人には認知度が低い。

調査の要約

【来場者の行動実態】

▶札幌演劇シーズンの情報入手源は、「友人・知人からの情報（SNS含む）」が56%と最も多く、人を通じて情報入手し来場している。なお、「演劇シーズン公式Facebookや公式Twitter」は、演劇を「年に5本以上」鑑賞している人が情報源として利用している。

▶来場動機について、「作品がおもしろそうだったから」を理由に上げた人が60%と、最も多い。

▶札幌演劇シーズンの鑑賞経験有無については、作品によって異なる。「私の名前は、山田タロス。」・「ニュートンの触媒」は「20作品以上」を観た人が最も多く、約3割を占める。一方で、「プラセボ/アレルギー」・「BIG Singer Glorious」は「はじめて」の人が最も多く、約4-5割である。

▶今回鑑賞した劇団の他作品の観劇有無については、劇団によって異なる。劇団「もえぎ色」は、初めて鑑賞した人が67%である一方で、劇団「ELEVEN NINES」は4作品以上を鑑賞している人が24%となり、劇団のファンが多く観劇している。



調査の概要

調査の概要

1. アンケート調査対象

*会期 2021年7月17日（土）～8月21日（土）

*団体（5団体）・作品（5作品）・会場・ステージ数（55ステージ）

のと☆えれき「私の名前は、山田タロス。」シアターZOO / 10ステージ

劇団words of hearts「ニュートンの触媒」生活支援型文化施設コンカリーニョ / 10ステージ

きまぐれポニーテール「King of Rock'n Roll」演劇専門小劇場BLOCH / 11ステージ

ELEVEN NINES「プラセボ／アレルギー」生活支援型文化施設コンカリーニョ / 12ステージ

もえぎ色「BIG Singer Glorious」北海道立道民活動センターかでの2・7 / 12ステージ

*調査対象者数（3,071名）

のと☆えれき「私の名前は、山田タロス。」：417名

劇団words of hearts「ニュートンの触媒」：350名

きまぐれポニーテール「King of Rock'n Roll」：400名

ELEVEN NINES「プラセボ／アレルギー」：892名

もえぎ色「BIG Singer Glorious」：1,012名

2. 調査方法 ウェブアンケートによる調査（無記名）

3. 有効回答数 236（来場者の7.6%）

報告書内容

観劇した作品 (Q1)

各作品の観劇日時 (Q2~Q6)

各作品の満足度 (Q7~Q11)

満足度が低かった要素 (Q12~Q16)

これまでの演劇鑑賞経験 (Q17)

今回鑑賞した作品の過去の観劇有無 (Q18~Q22)

今回鑑賞した劇団の他作品の観劇有無 (Q23~Q27)

札幌演劇シーズンの認知度・鑑賞経験 (Q28~Q29)

札幌演劇シーズンの情報源 (Q30)

作品のほかに満足したこと (Q31)

来場動機 (Q32)

観劇作品の他者への推薦度 (Q33)

居住地 (Q38)

性別・年代 (Q36~Q37)

作品別にみる札幌演劇シーズンの観賞経験

作品別にみる性別の内訳

作品別にみる年代の内訳

作品別にみる情報源

これまでの観劇経験別にみる来場動機

これまでの観劇経験別にみる年代の内訳

札幌演劇シーズンの認知度別にみる年代の内訳

札幌演劇シーズンの観賞経験別にみる年代の内訳

札幌演劇シーズンの鑑賞経験別にみる情報源

情報源別にみるこれまでの観劇経験

性別にみる札幌演劇シーズンの情報源

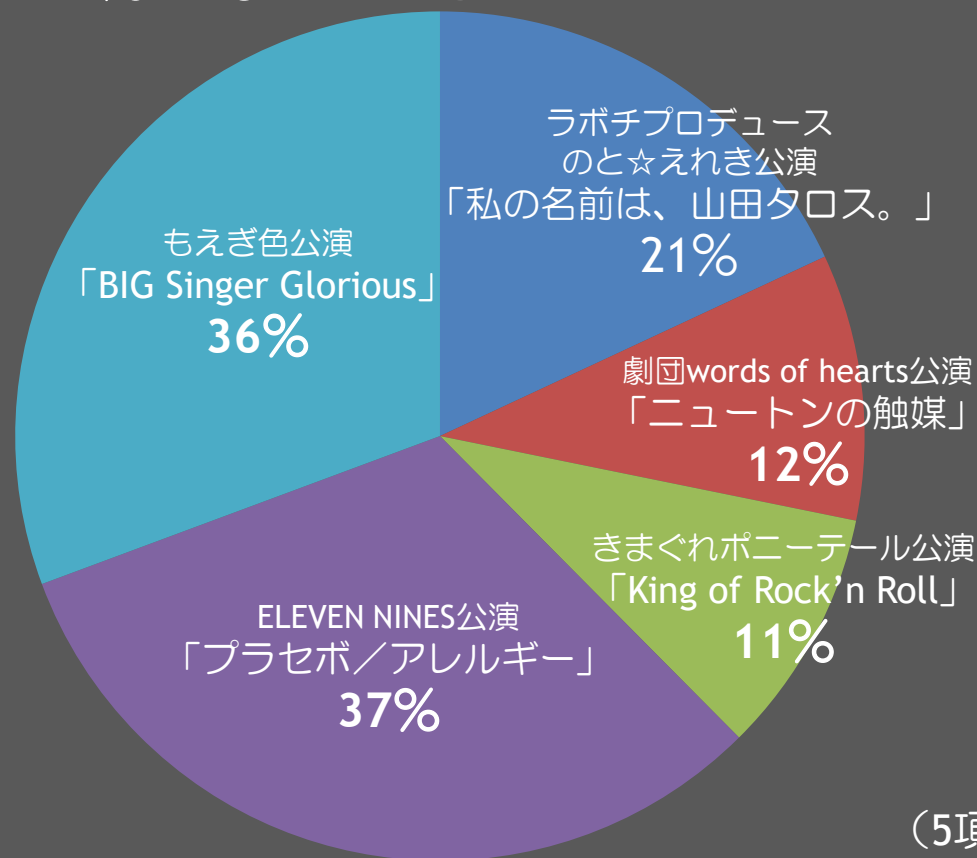
年代別にみる来場動機



単純集計

観劇した作品

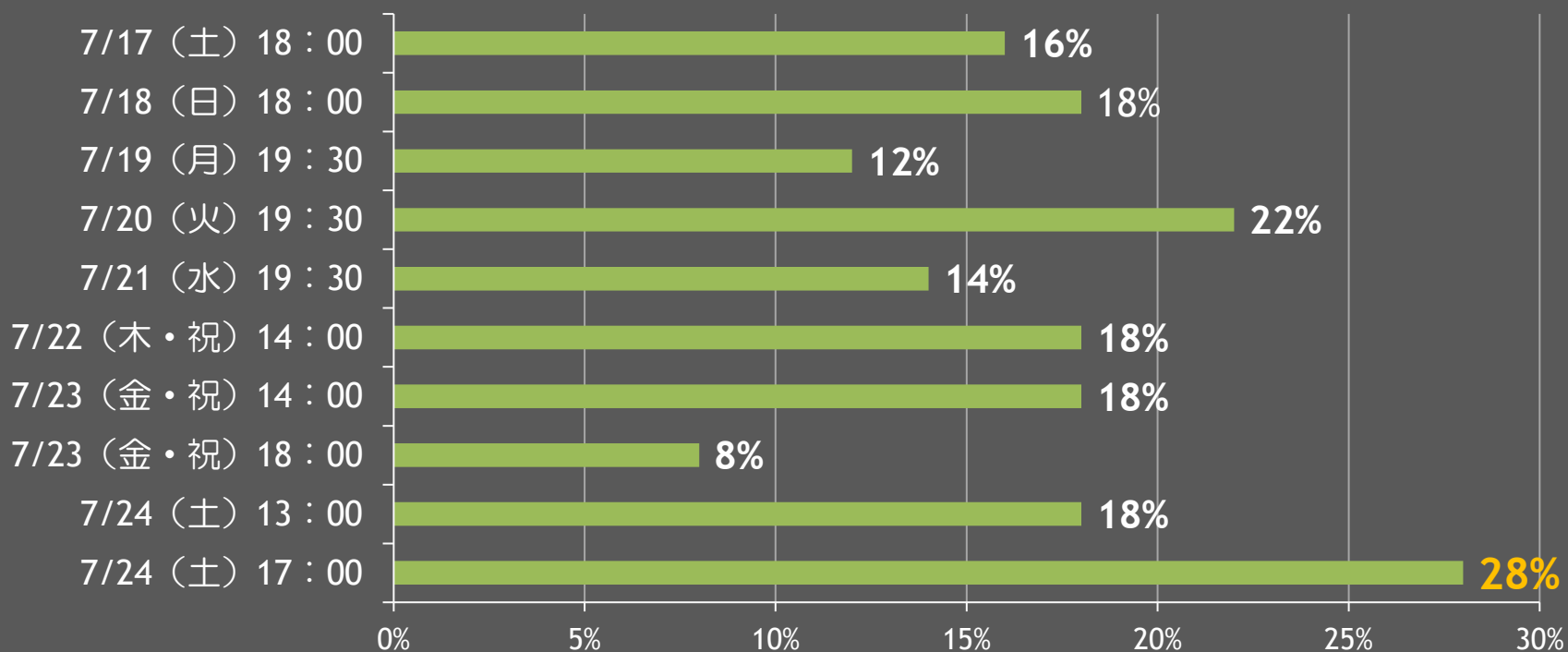
「のと☆えれき」が21%、「劇団words of hearts」が12%、
「きまぐれポニーテール」が11%、「ELEVEN NINES」が37%、
「もえぎ色」が36% となっている



(5項目、複数回答、n=236)

観劇日時 / 「私の名前は、山田タロス。」

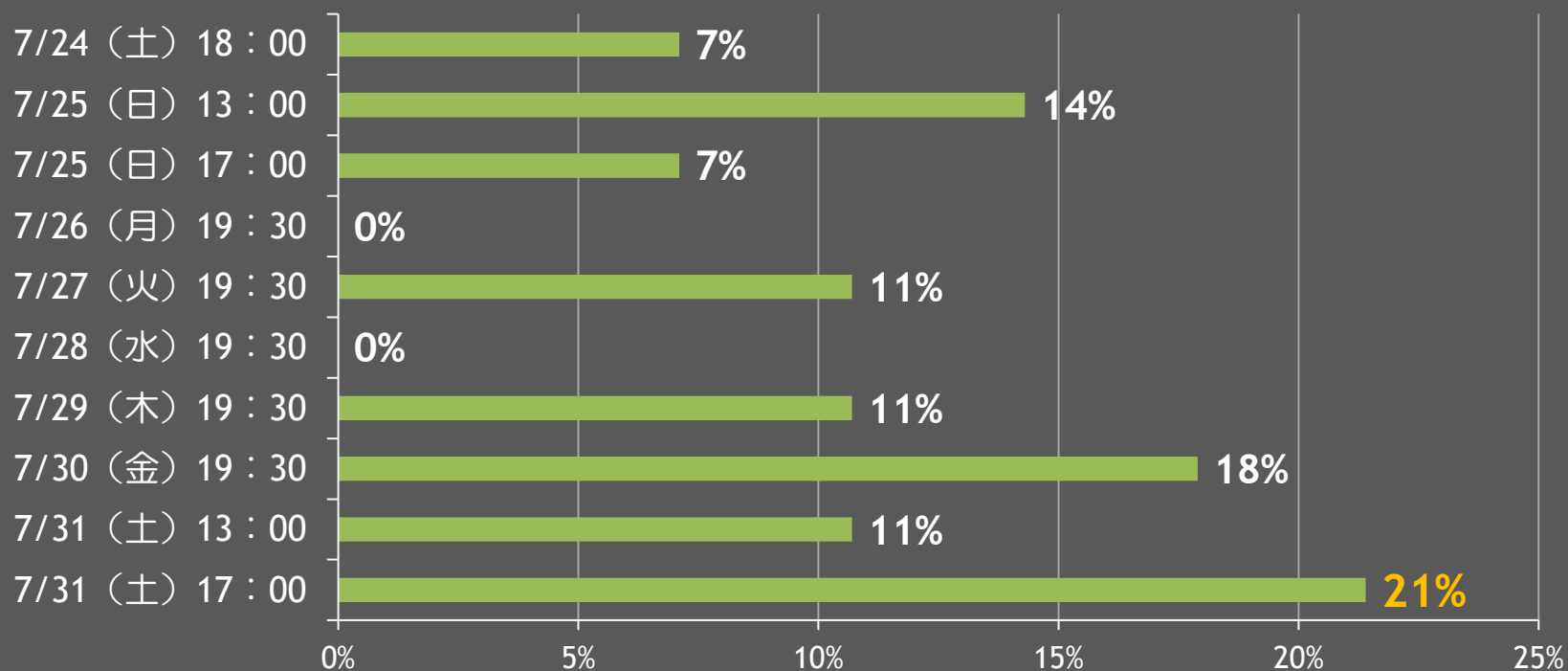
千秋楽である7/24（土）17：00を観劇した回答者が一番多い



（10項目、複数回答、n=50）

観劇日時/「ニュートンの触媒」

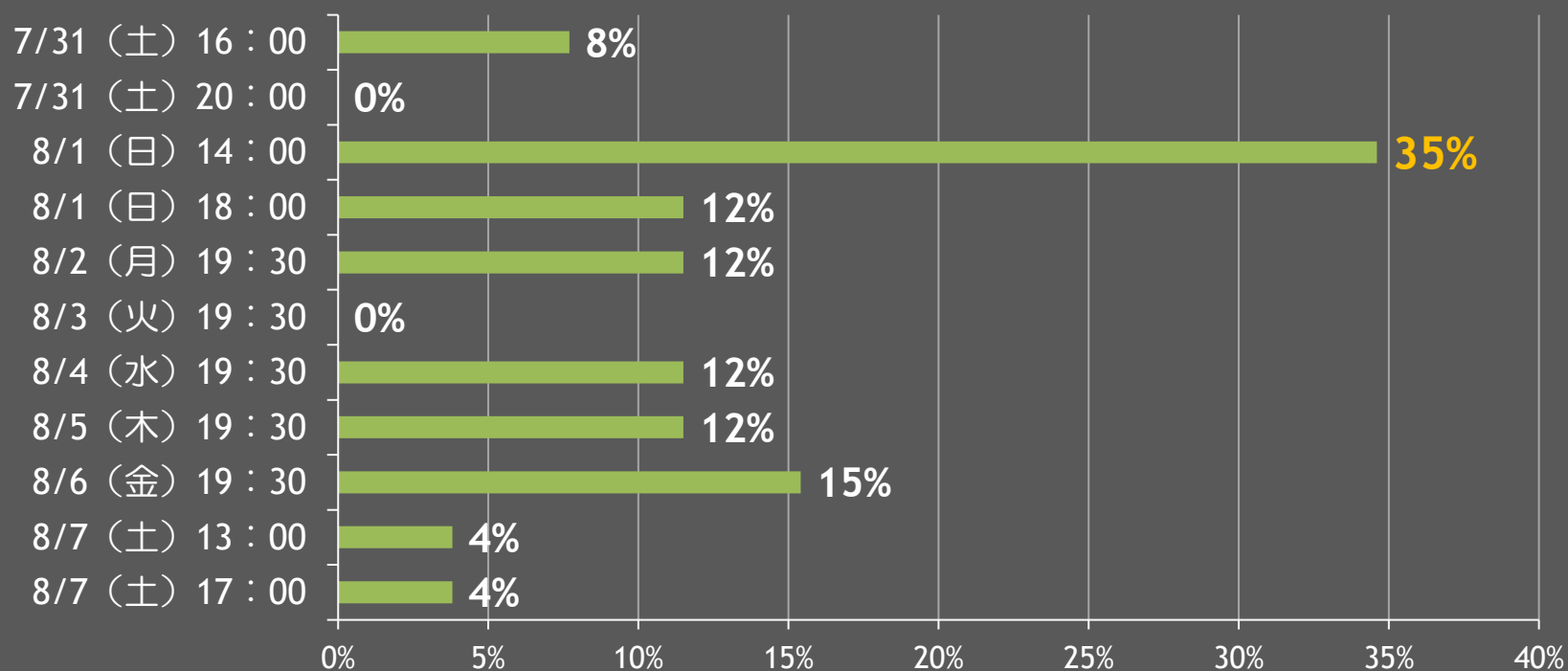
千秋楽である7/31（土）17：00を観劇した回答者が一番多い



（10項目、複数回答、n=28）

観劇日時 / 「King of Rock' n Roll」

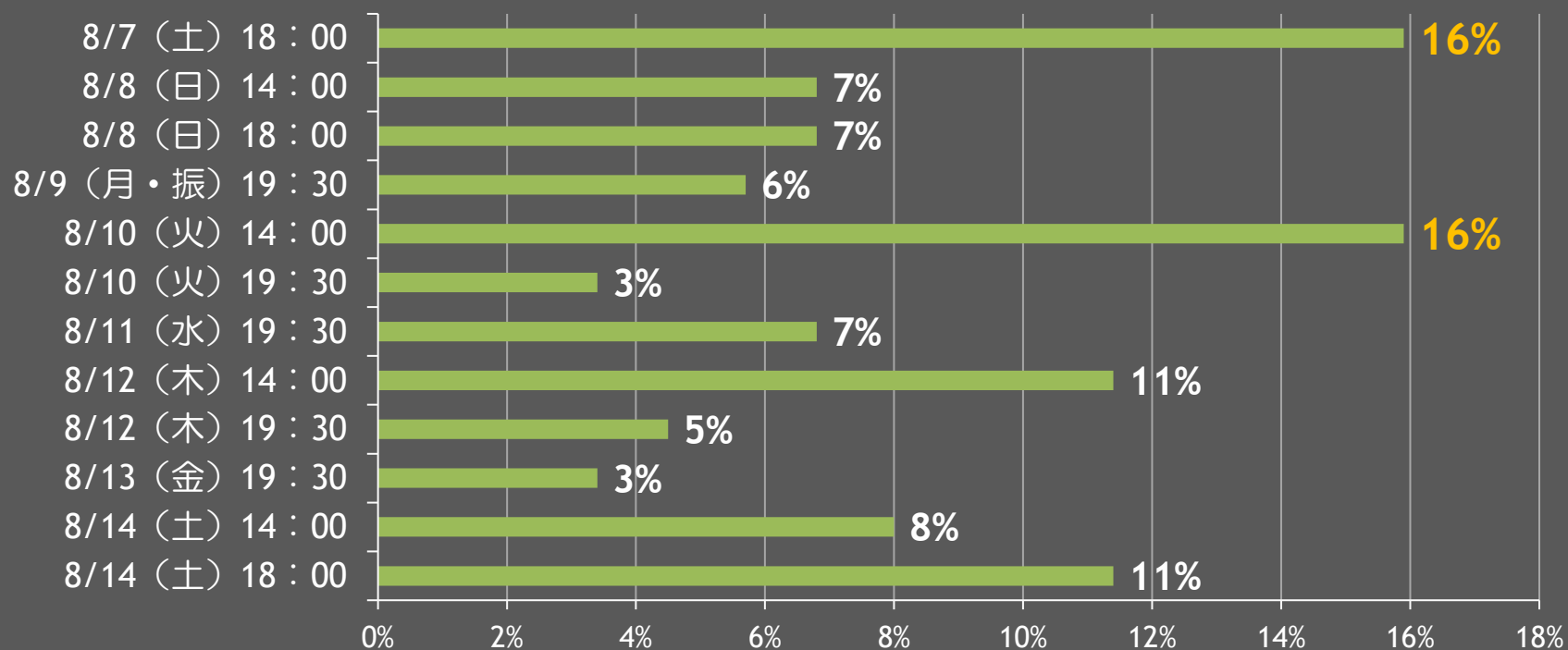
唯一の日曜日である8/1（日）14：00を観劇した回答者が一番多い



(11項目、複数回答、n=26)

観劇日時/「プラセボ/アレルギー」

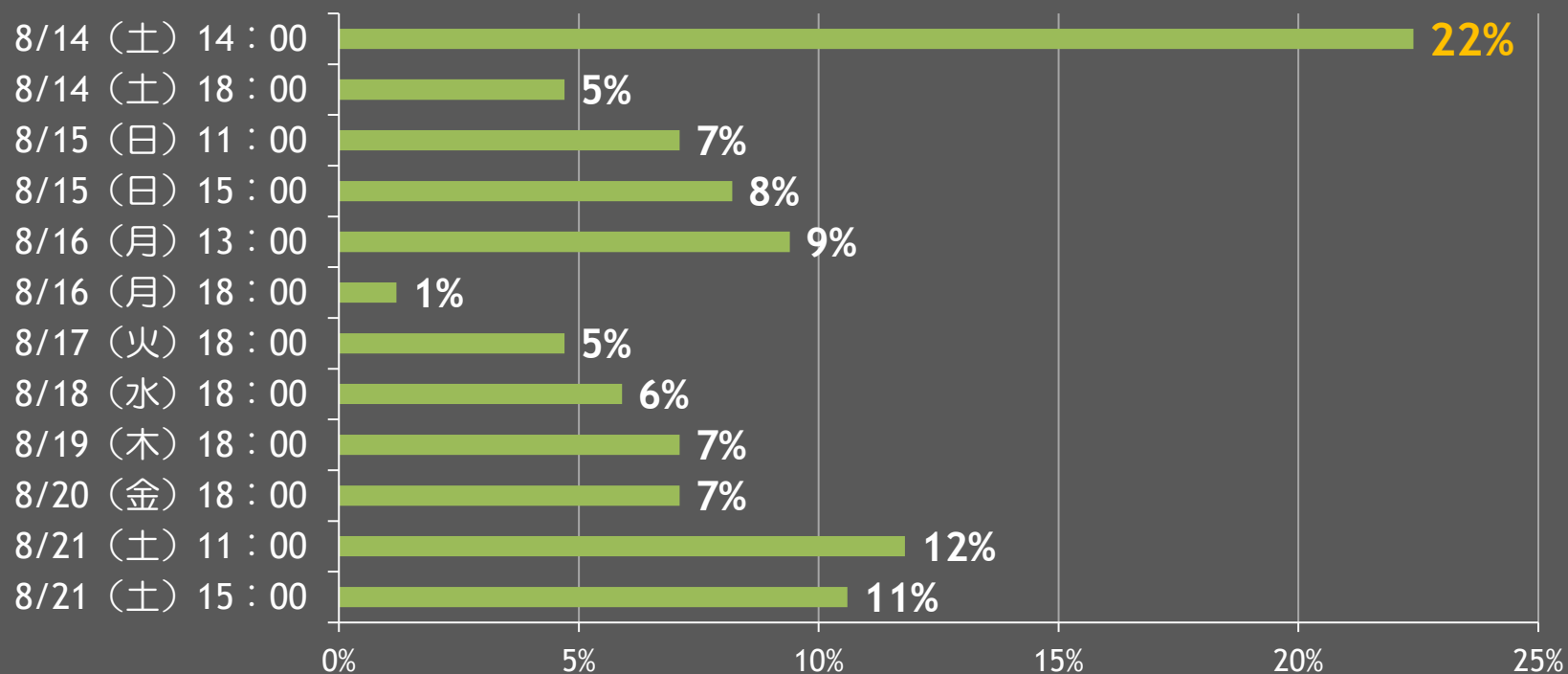
公演初回の8/7（土）18：00もしくは8/10（火）14：00を観劇した回答者が多い



（12項目、複数回答、n=88）

観劇日時 / 「BIG Singer Glorious」

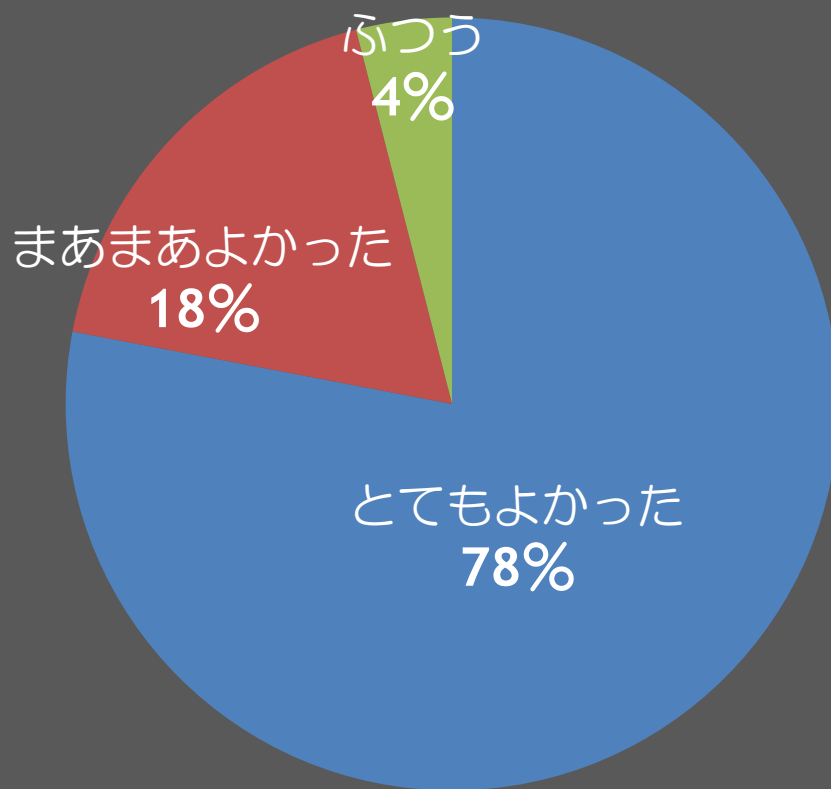
公演初回である8/14（土）14：00を観劇した回答者が一番多い



(12項目、複数回答、n=85)

満足度/「私の名前は、山田タロス。」

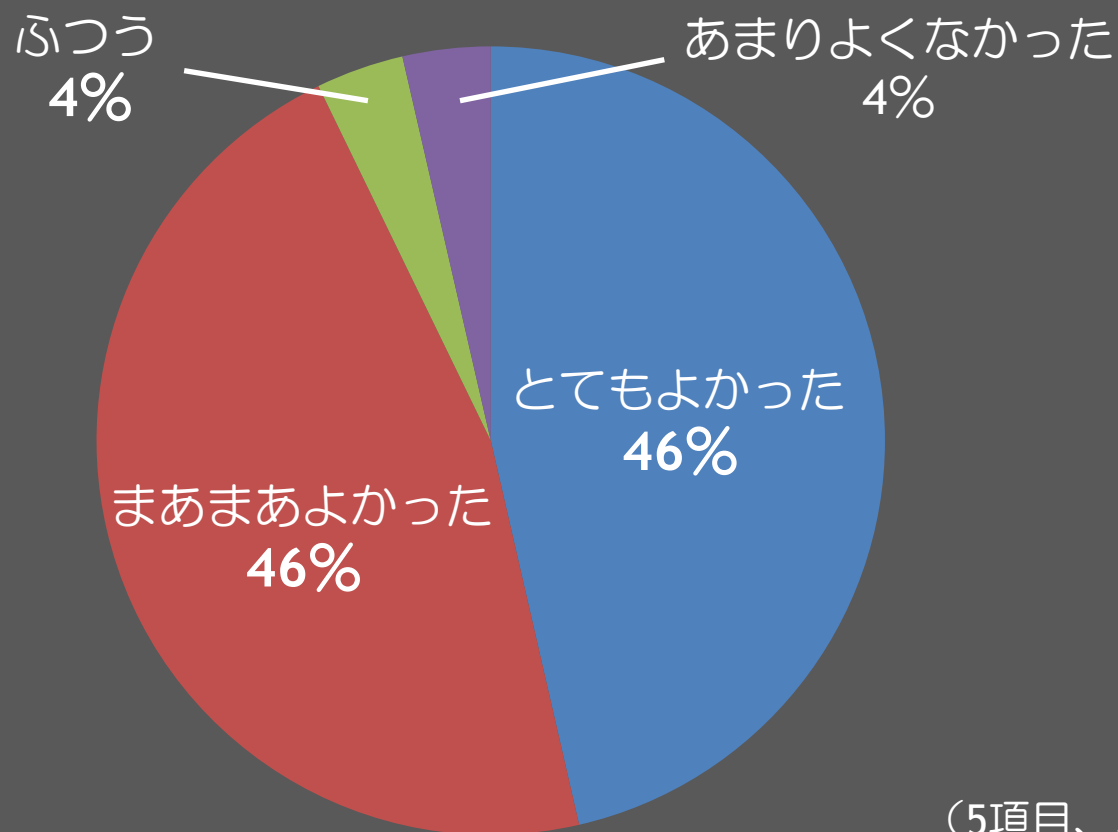
「とてもよかった」と「まあまあよかった」が合わせて96%



(5項目、単数回答、n=50)

満足度/「ニュートンの触媒」

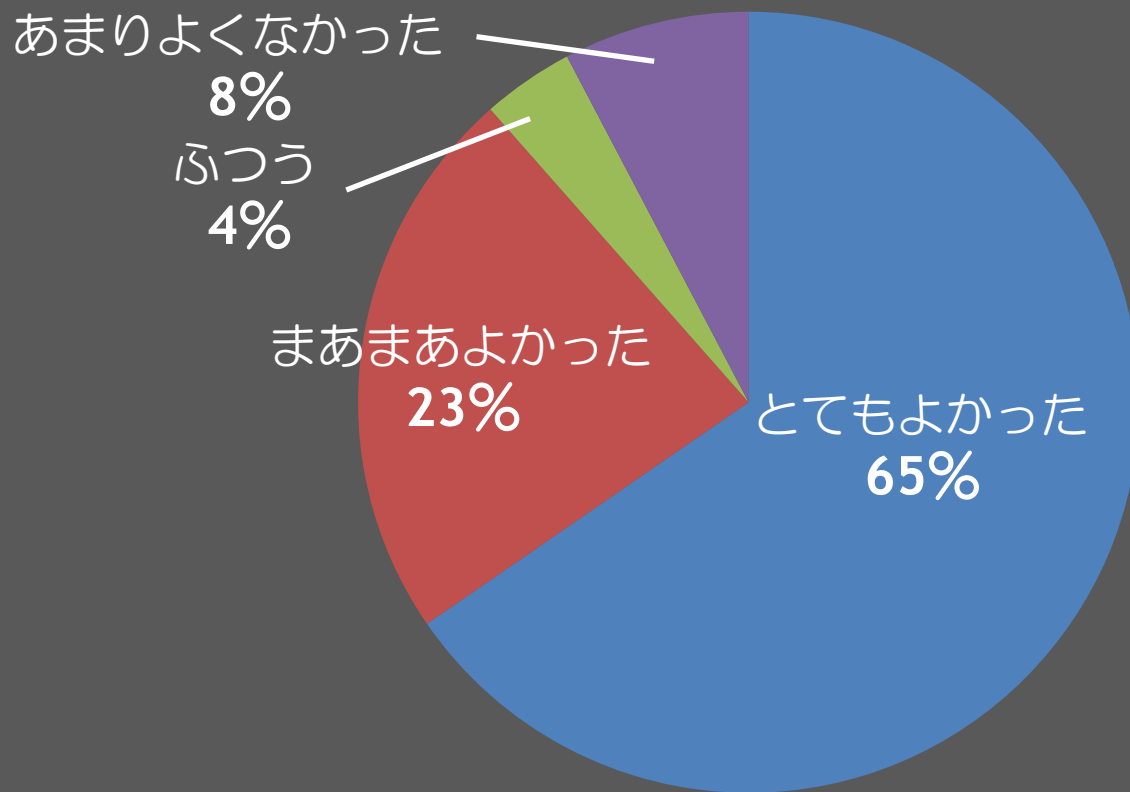
「とてもよかった」と「まあまあよかった」が合わせて92%



(5項目、単数回答、n=28)

満足度/「King of Rock' n Roll」

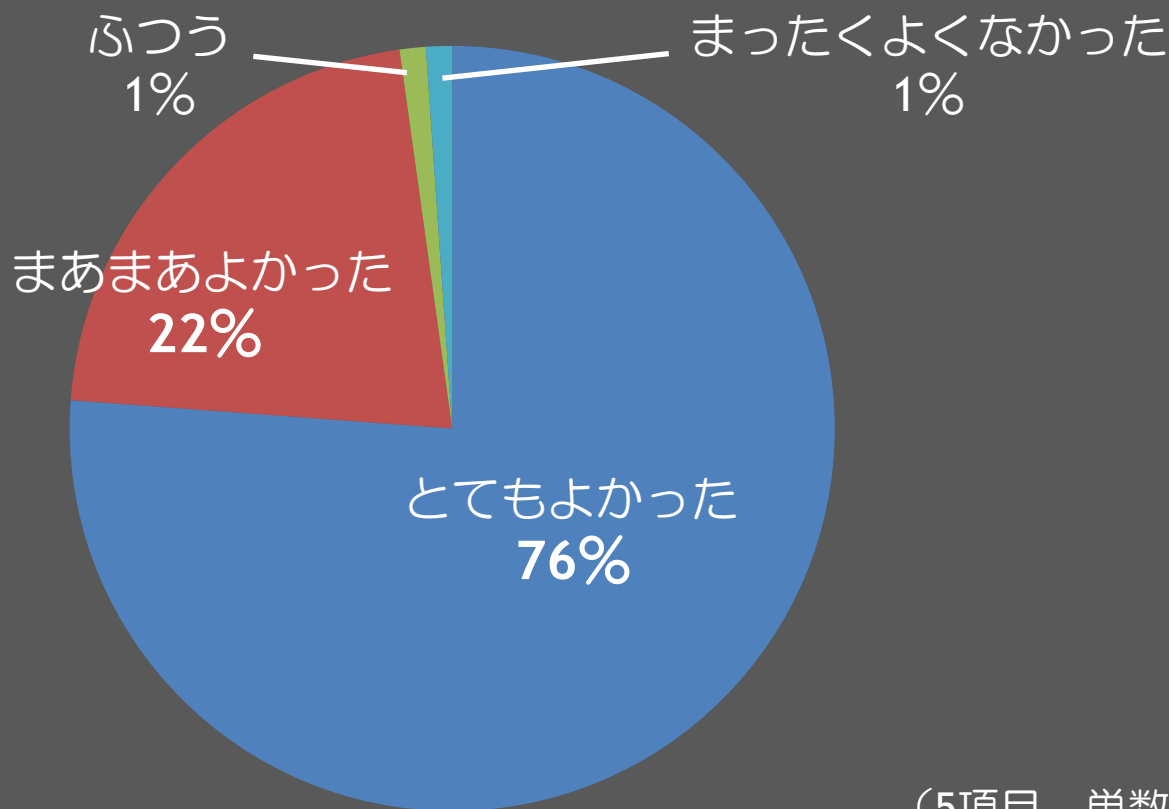
「とてもよかった」と「まあまあよかった」が合わせて88%



(5項目、単数回答、n=26)

満足度/「プラセボ/アレルギー」

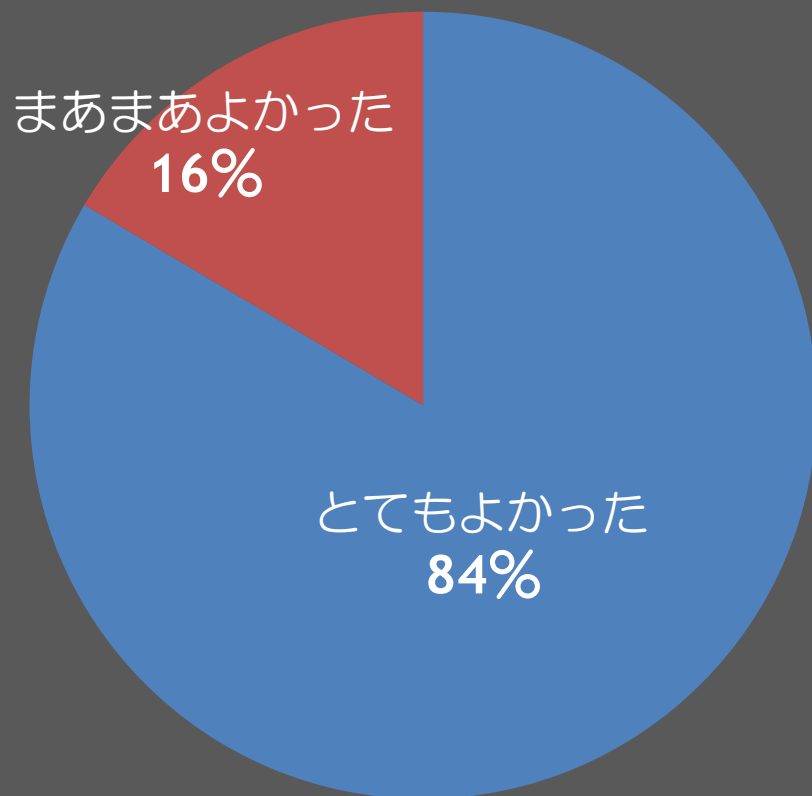
「とてもよかった」と「まあまあよかった」が合わせて98%



(5項目、単数回答、n=88)

満足度/「BIG Singer Glorious」

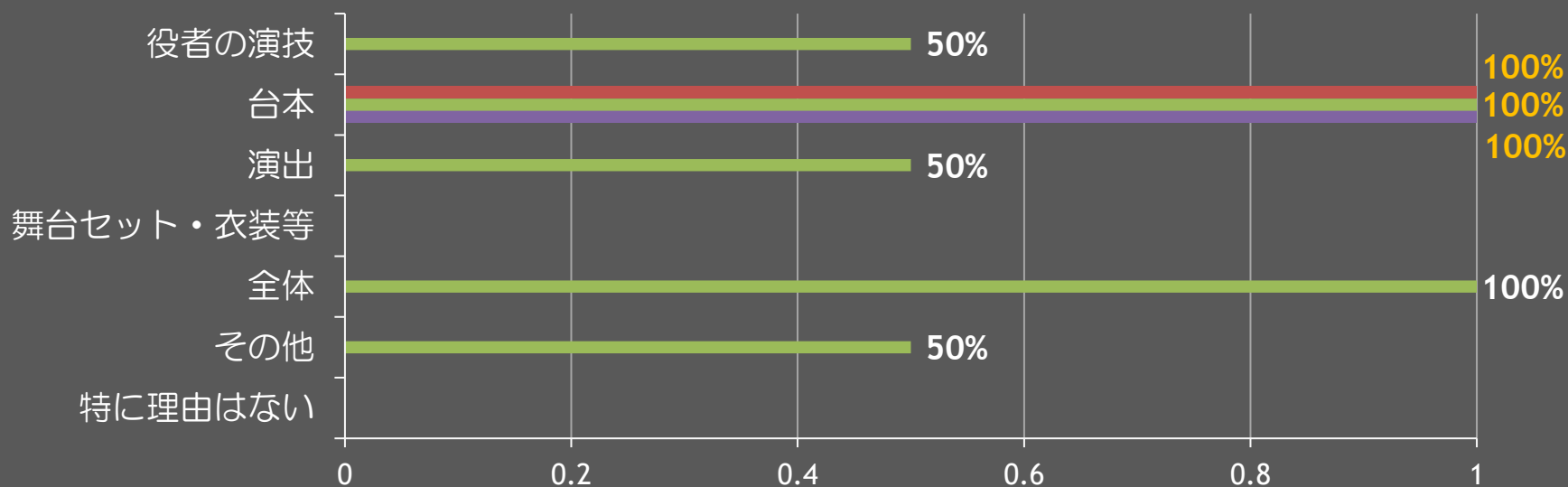
「とてもよかった」と「まあまあよかった」を合わせて100%となり、満足度が最も高い作品であった



(5項目、単数回答、n=85)

満足度が低かった要素

「台本」を不満に思っているお客さんが多い

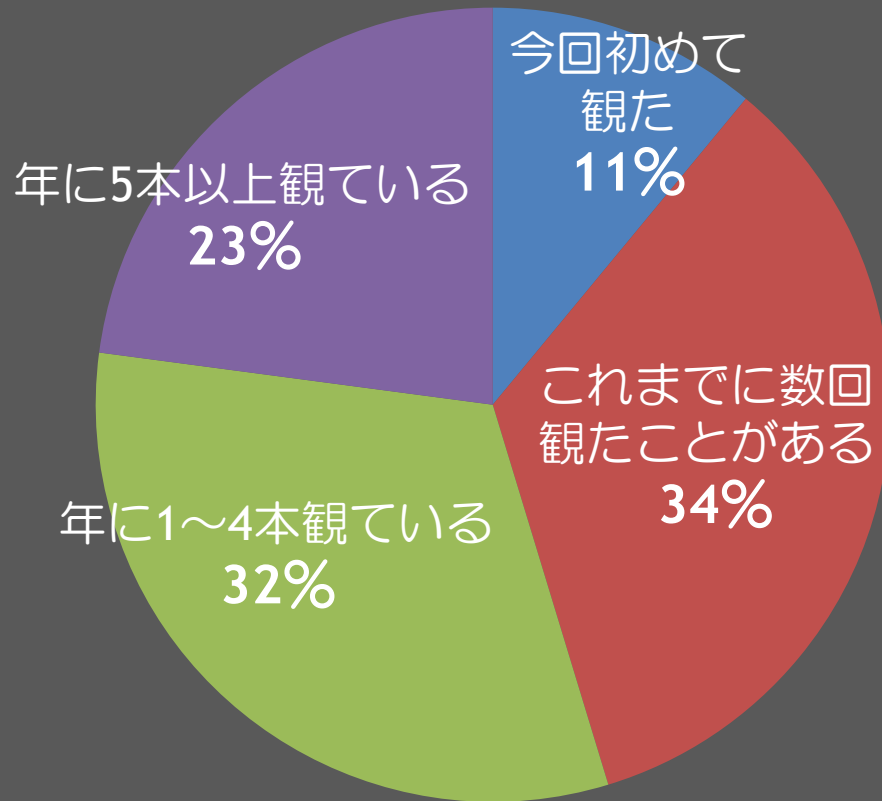


- ラボチプロデュースのと☆えれき公演「私の名前は、山田タロス。」
- 劇団words of hearts公演「ニュートンの触媒」
- きまぐれポニーテール公演「King of Rock'n Roll」
- ELEVEN NINES公演「プラセボ/アレルギー」
- もえぎ色公演「BIG Singer Glorious」

(7項目、複数回答、n=4)

これまでの演劇鑑賞経験

演劇を初めて観た人が11%である一方で、
演劇鑑賞経験がある人は89%となっている

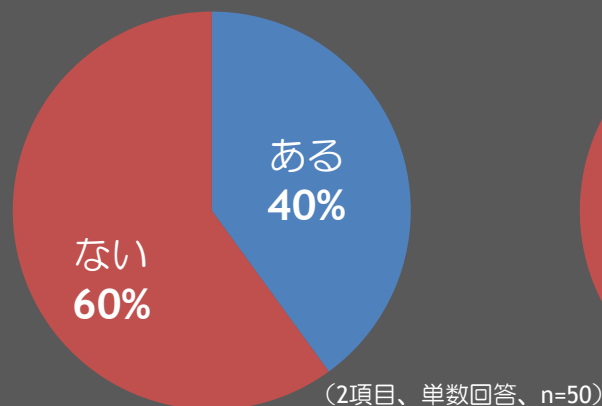


(4項目、単数回答、n=236)

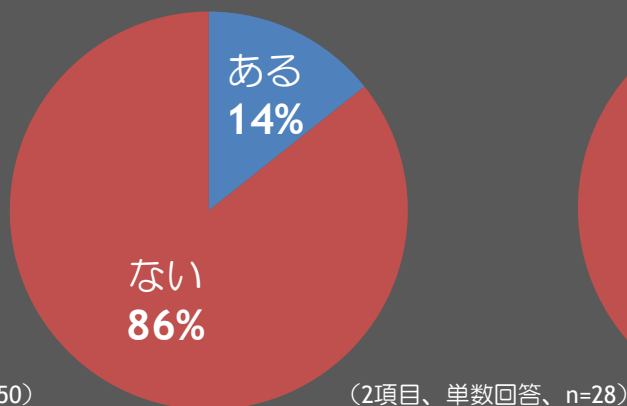
今回鑑賞した作品の過去の観劇有無

「私の名前は山田タロス。」は40%の人が過去に観劇経験があるが、他の4作品は約8~9割の人が初めて観劇している

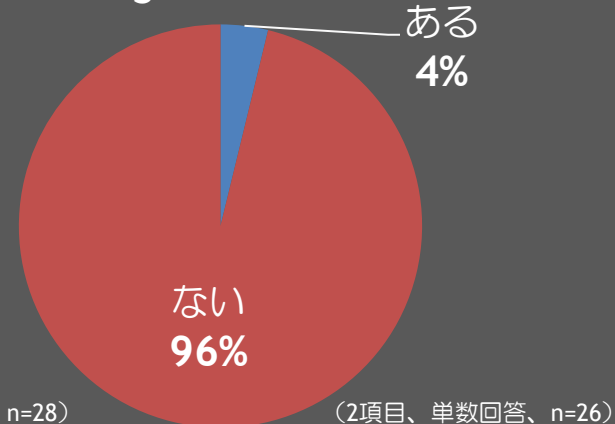
私の名前は山田タロス。



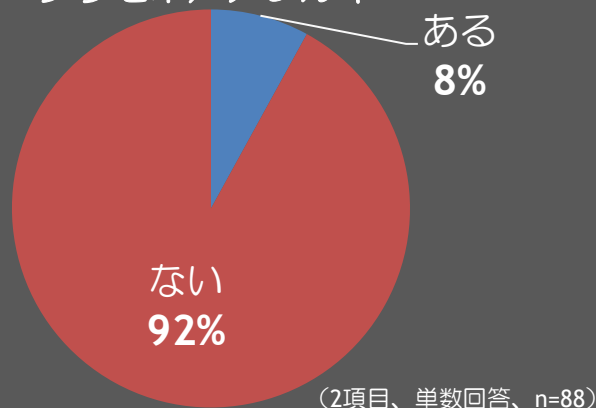
ニュートンの触媒



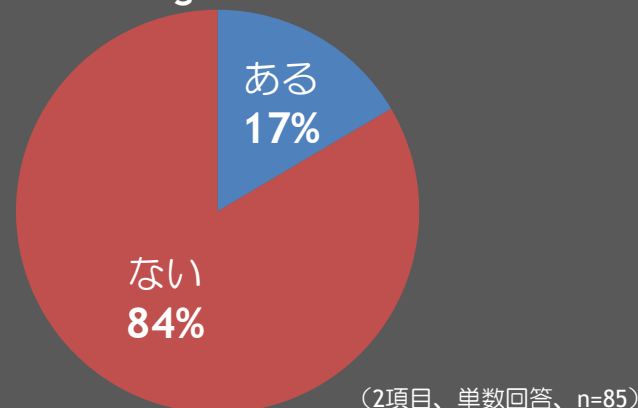
King of Rock'n Roll



プラセボ/アレルギー



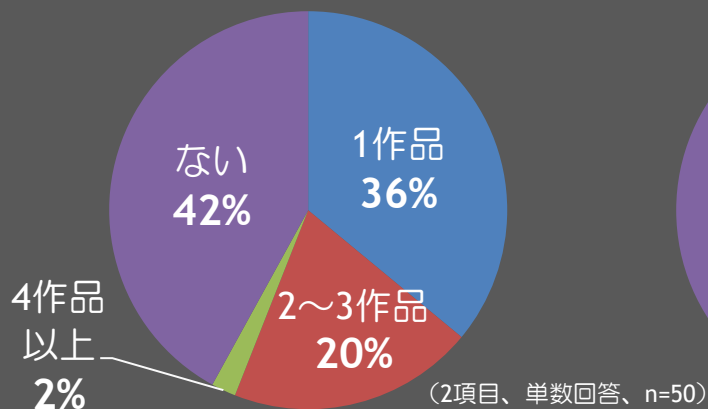
BIG Singer Glorious



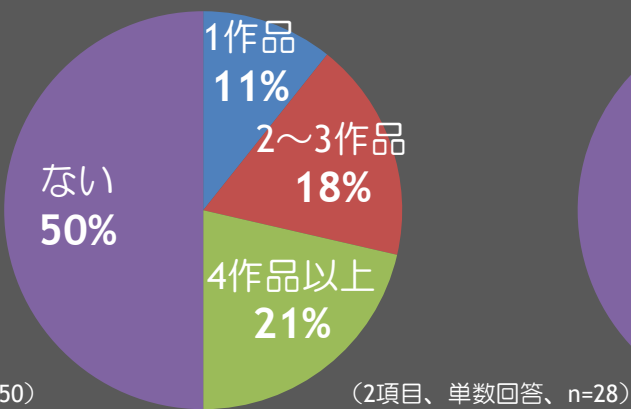
今回鑑賞した劇団の他作品の観劇有無

「もえぎ色」の作品は初めて観劇した人が多い一方で、「ELEVEN NINES」は4作品以上観劇している人が多く、ファンが多い

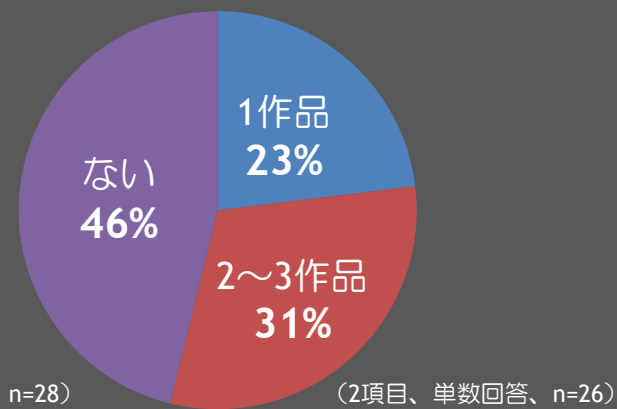
のと☆えれき



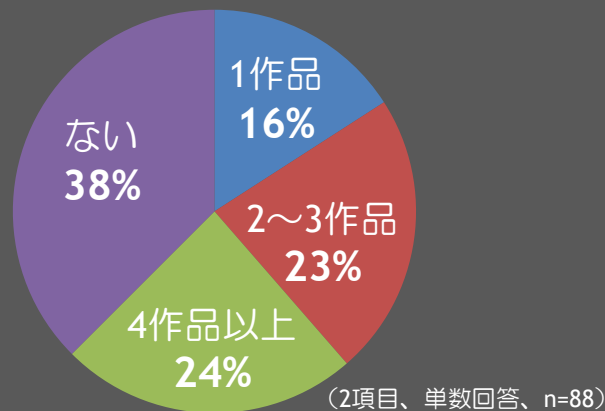
劇団words of hearts



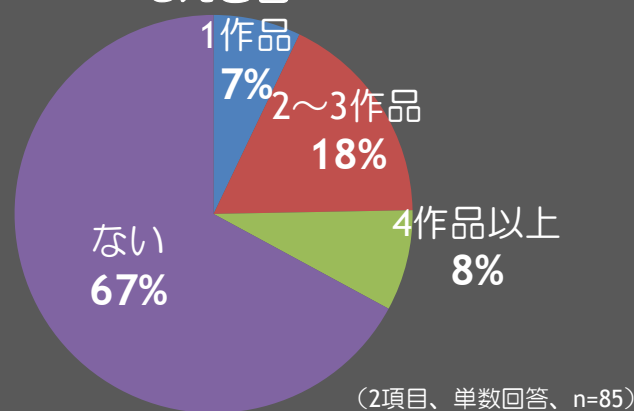
きまぐれポニーテール



ELEVEN NINES



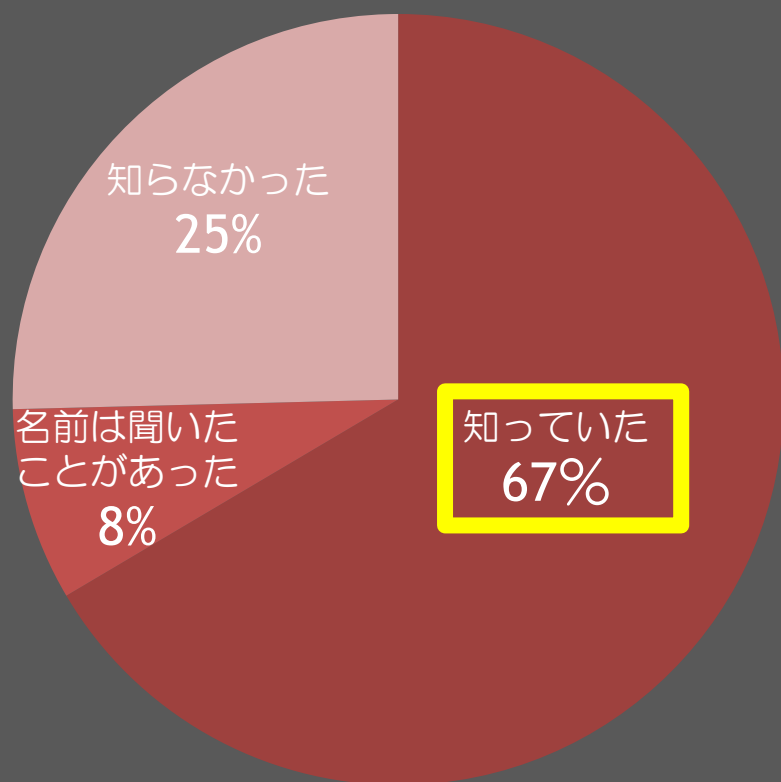
もえぎ色



札幌演劇シーズンの認知度・観賞経験

認知度

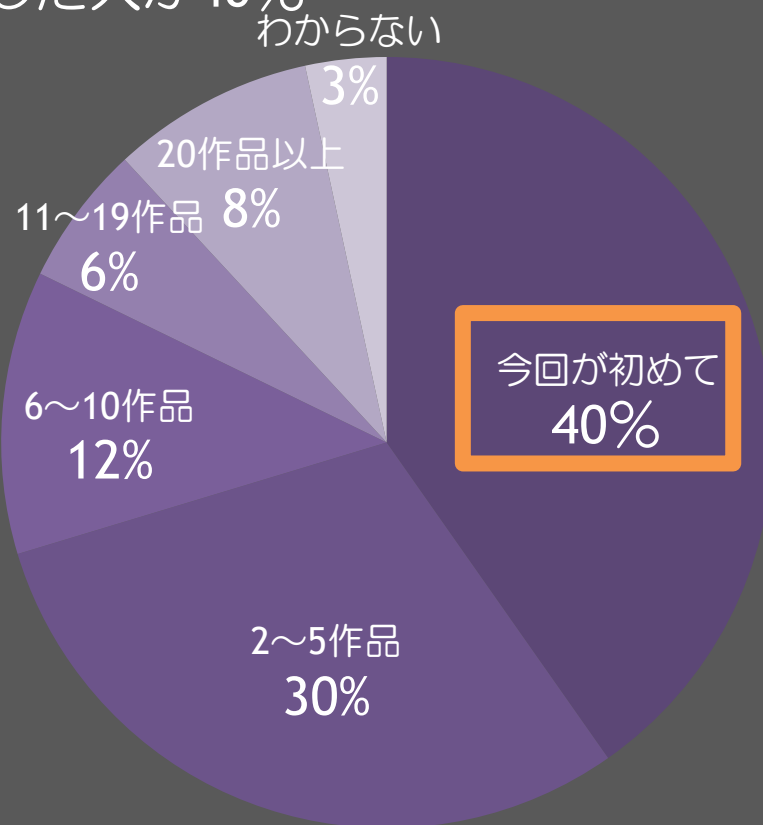
札幌演劇シーズンを「知っていた」人が67%



(3項目、単数回答、n=236)

観賞経験

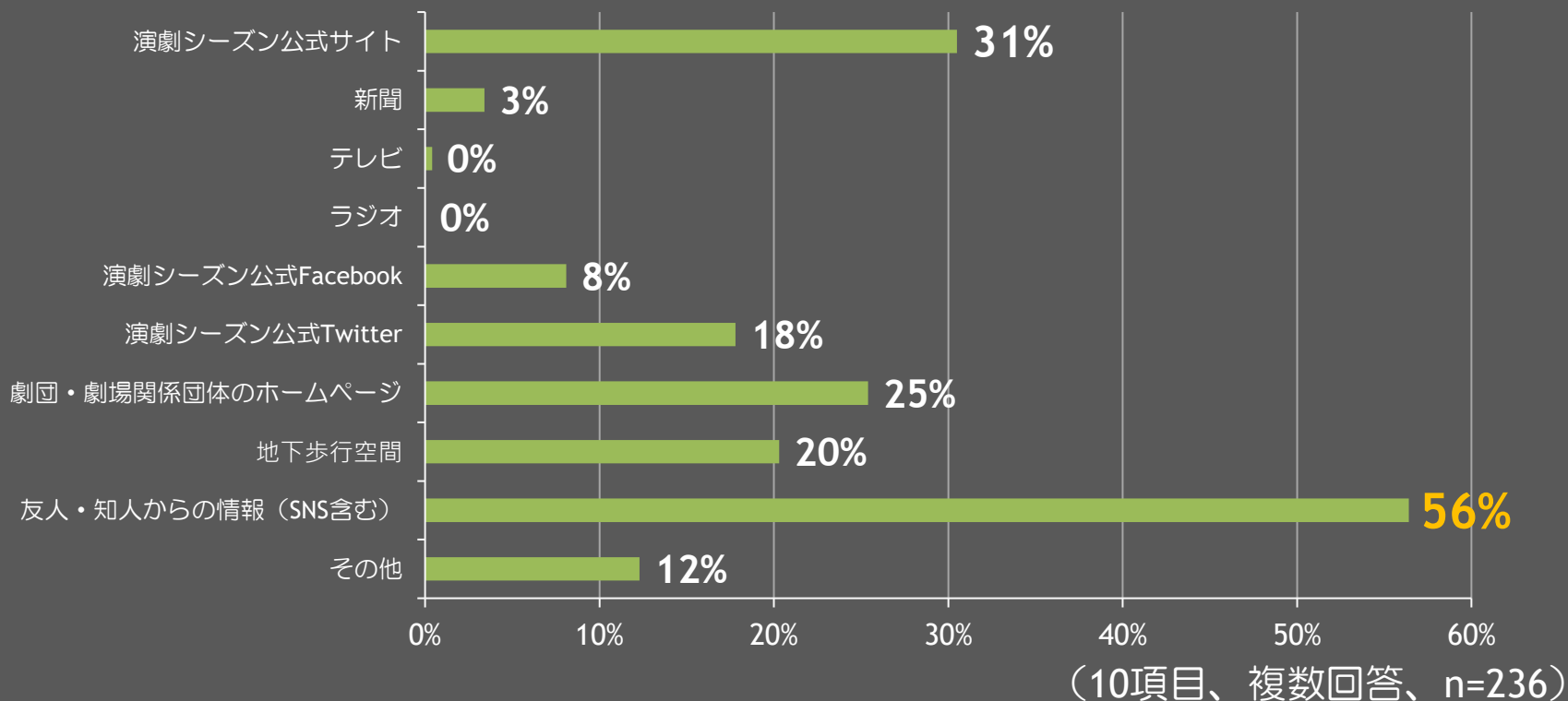
札幌演劇シーズンを今回初めて鑑賞した人が40%



(6項目、単数回答、n=236)

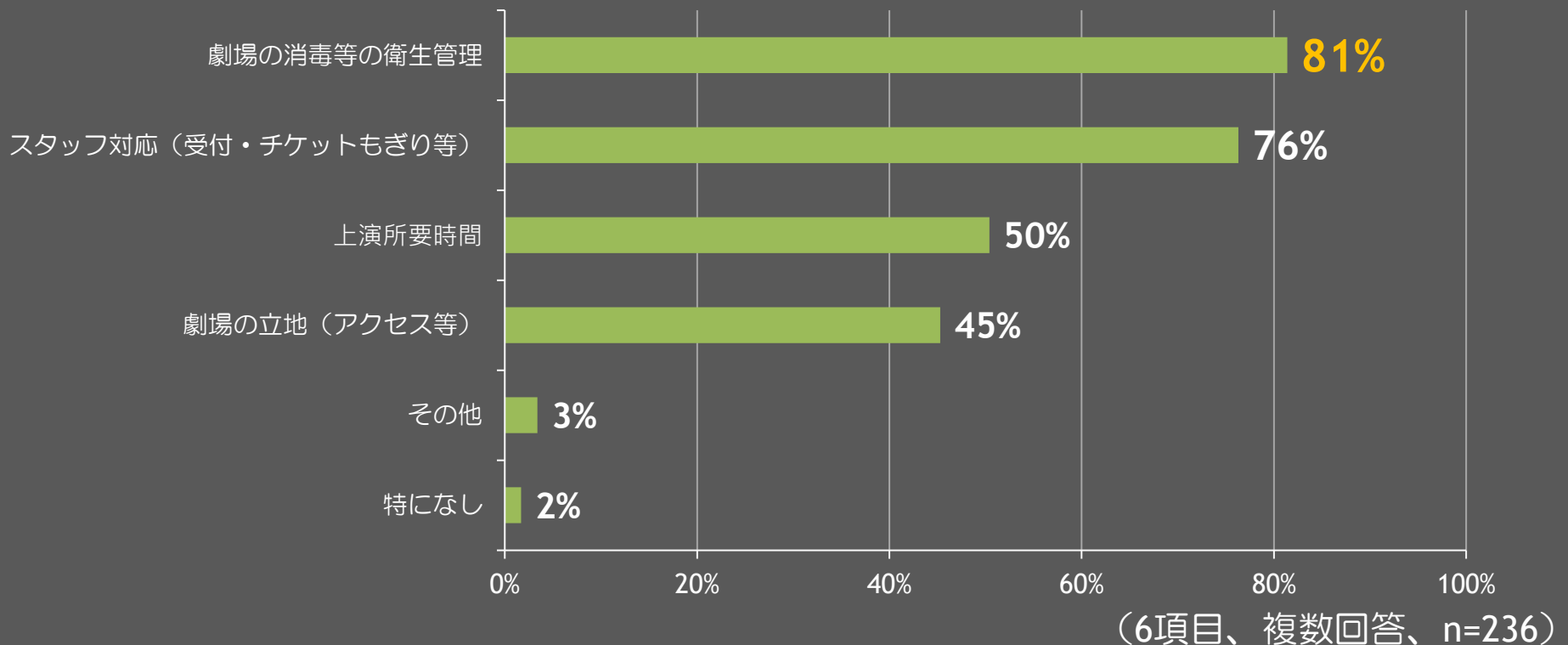
札幌演劇シーズンの情報源

「友人・知人からの情報（SNSを含む）」を元に来ている方が56%で最多
次いで「演劇シーズン公式サイト」の31%



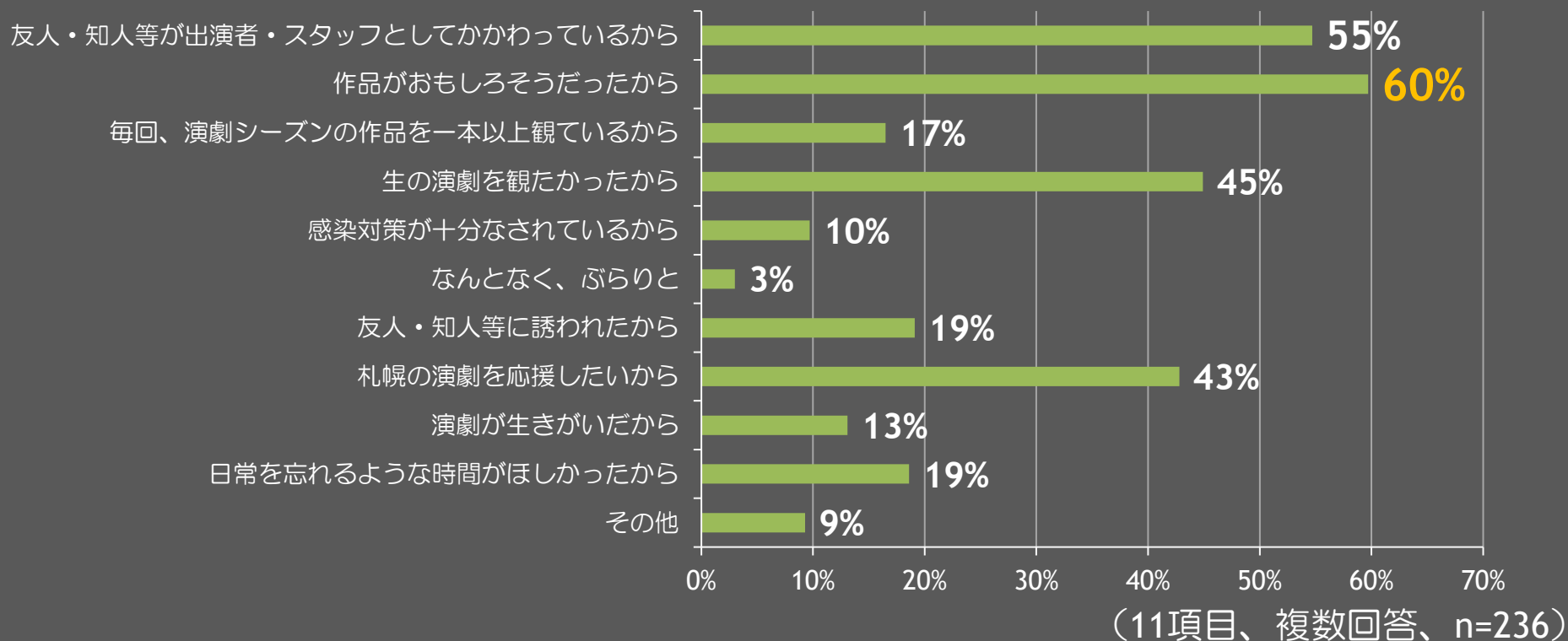
作品のほかに満足したこと

「劇場の消毒等の衛生管理」に満足している人が81%で最多
次いで「スタッフ対応（受付・チケットもぎり等）の76%



来場動機

「作品がおもしろそうだったから」が60%で最多
次いで、「友人・知人等が出演者・スタッフとしてかかわっているから」の55%



観劇作品の他者への推薦度

中立者と批判者を合計しても推奨者の人数が上回るため、多くの人々が他者にも「札幌演劇シーズン」を推奨したいという結果が得られている

【NPS（顧客ロイヤリティを数値化したもの）を用いて算出】

計算式：推奨者の割合－批判者の割合＝NPS

アンケート結果より

推奨者（9・10）：124人

中立者（7・8）：88人

批判者（0～6）：24人

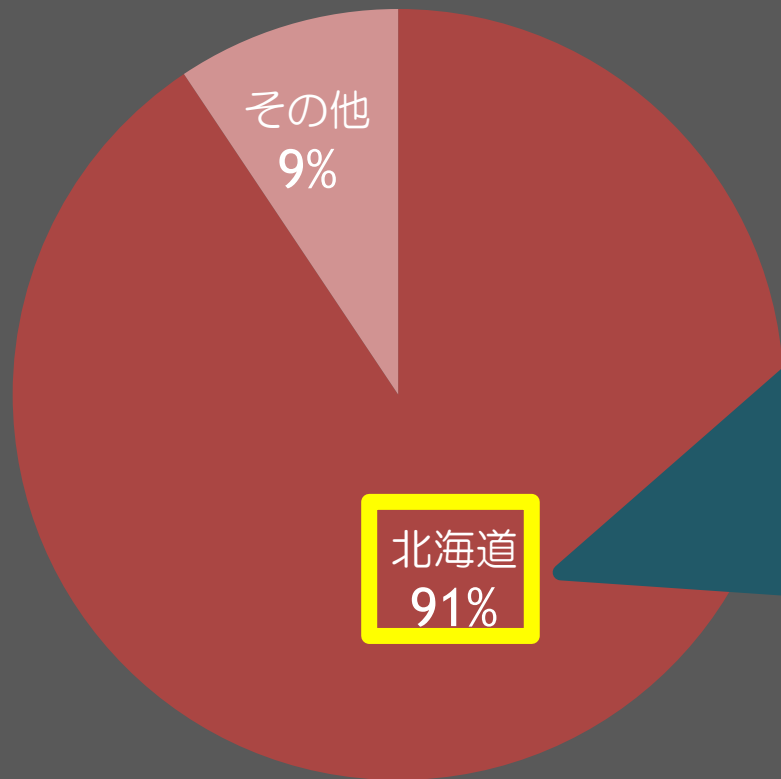
推奨者の割合－批判者の割合
52.5% — 10%



NPS42.5

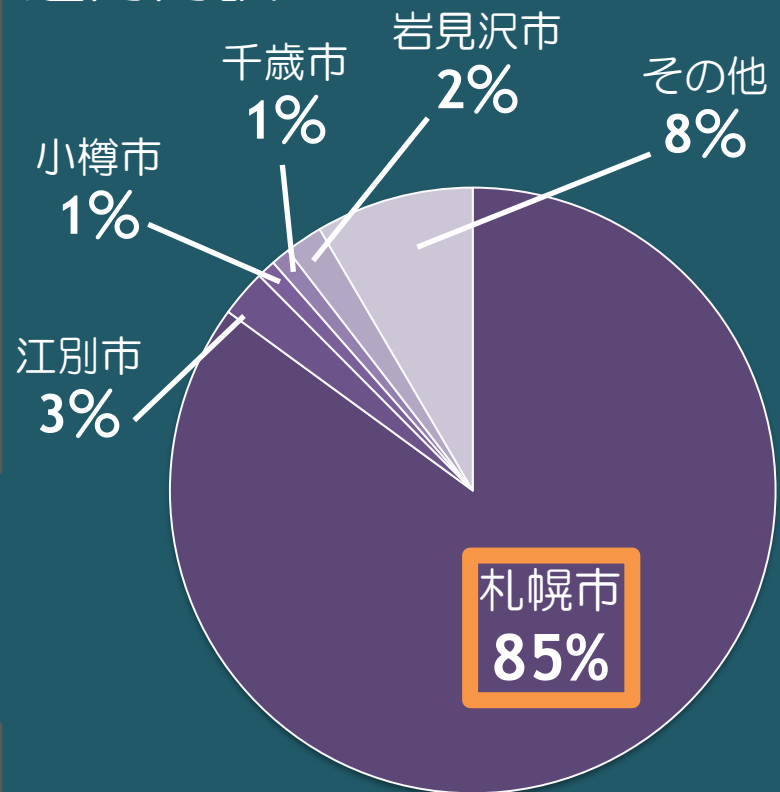
居住地

「北海道」が91%を占め、その中でも「札幌市」が85%で最多



(2項目、単数回答、n=224)

道内内訳



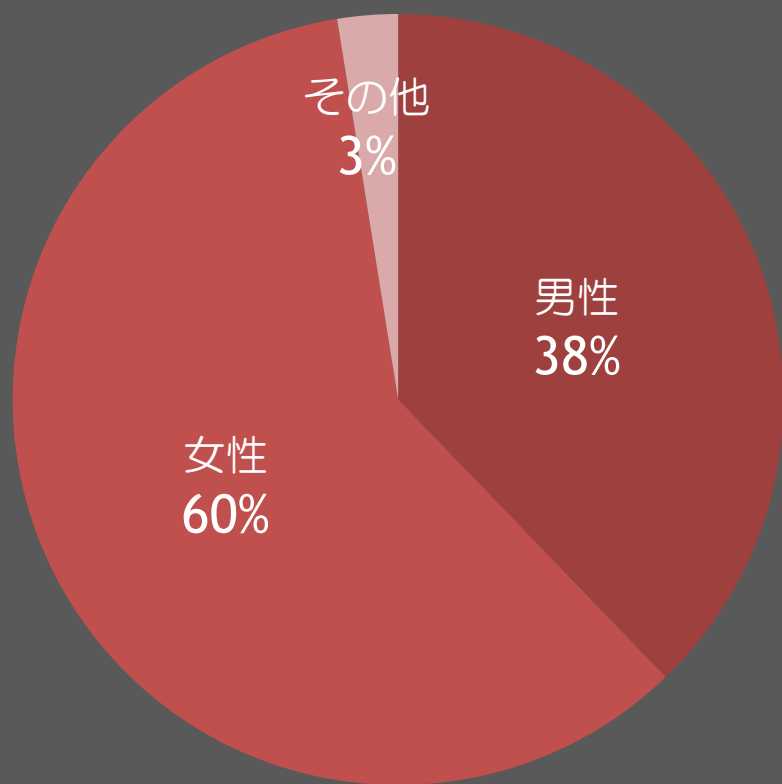
(7項目、単数回答、n=202)

性別

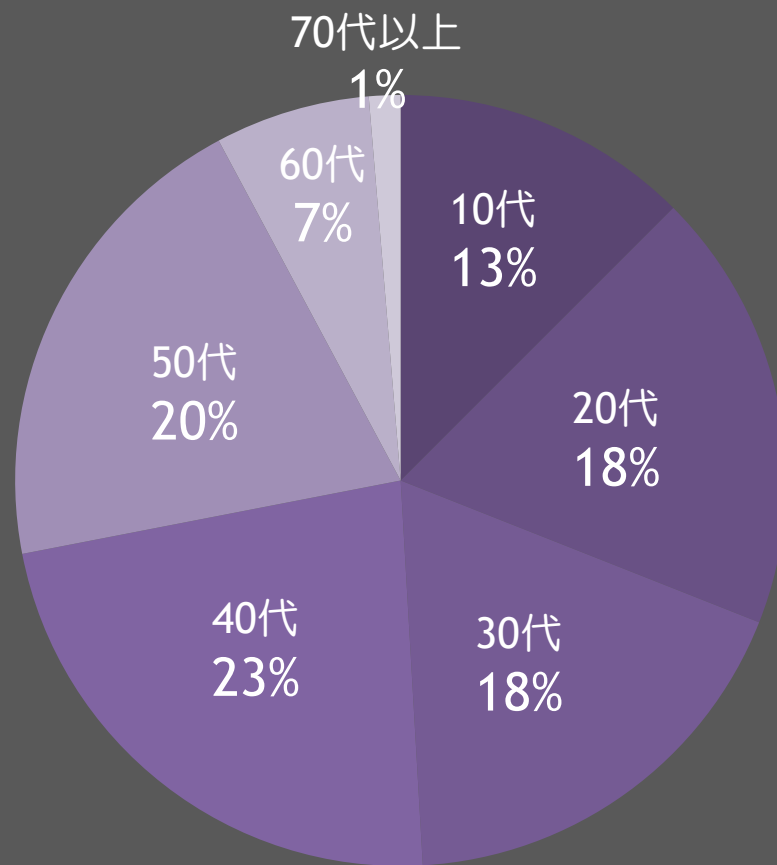
年代

「女性」が60%、「男性」が38%

「30代」以上の合計が69%で約7割を占めている



(3項目、単数回答、n=233)



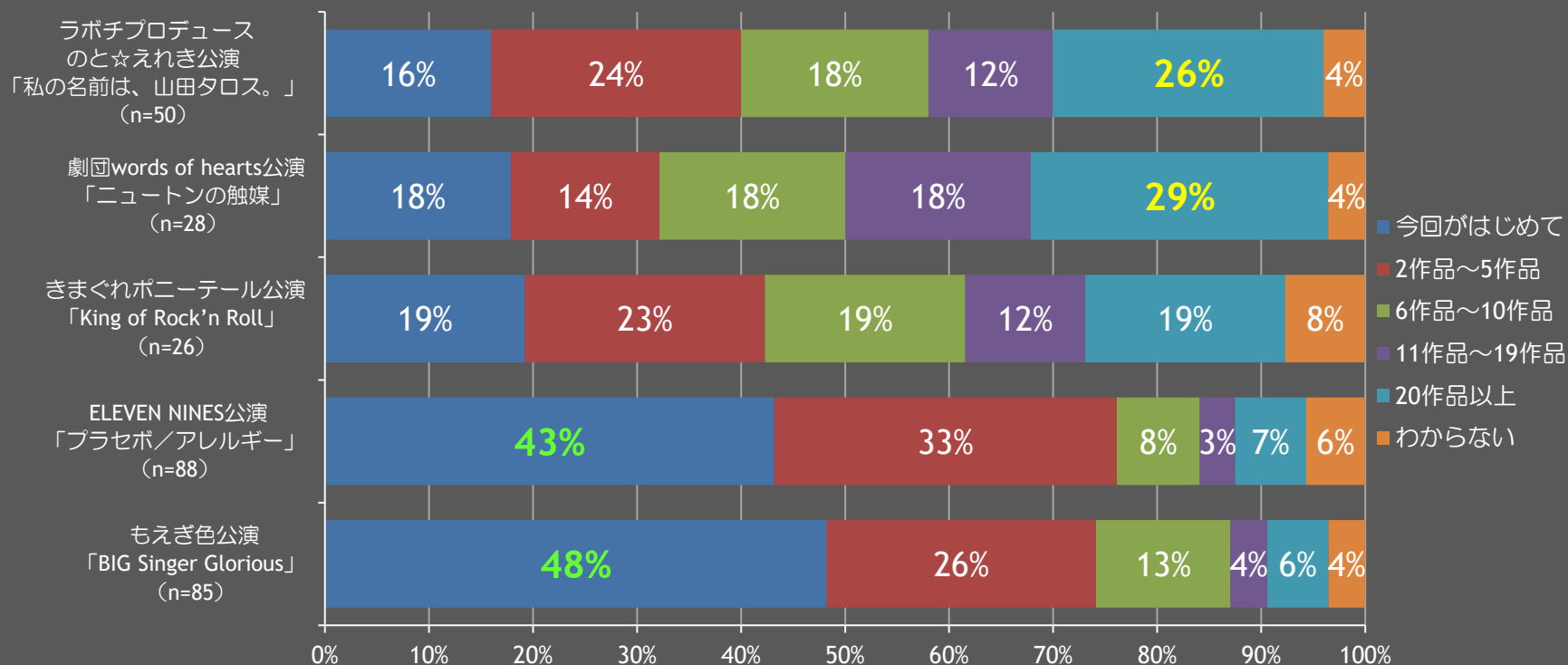
(7項目、単数回答、n=232)



クロス集計

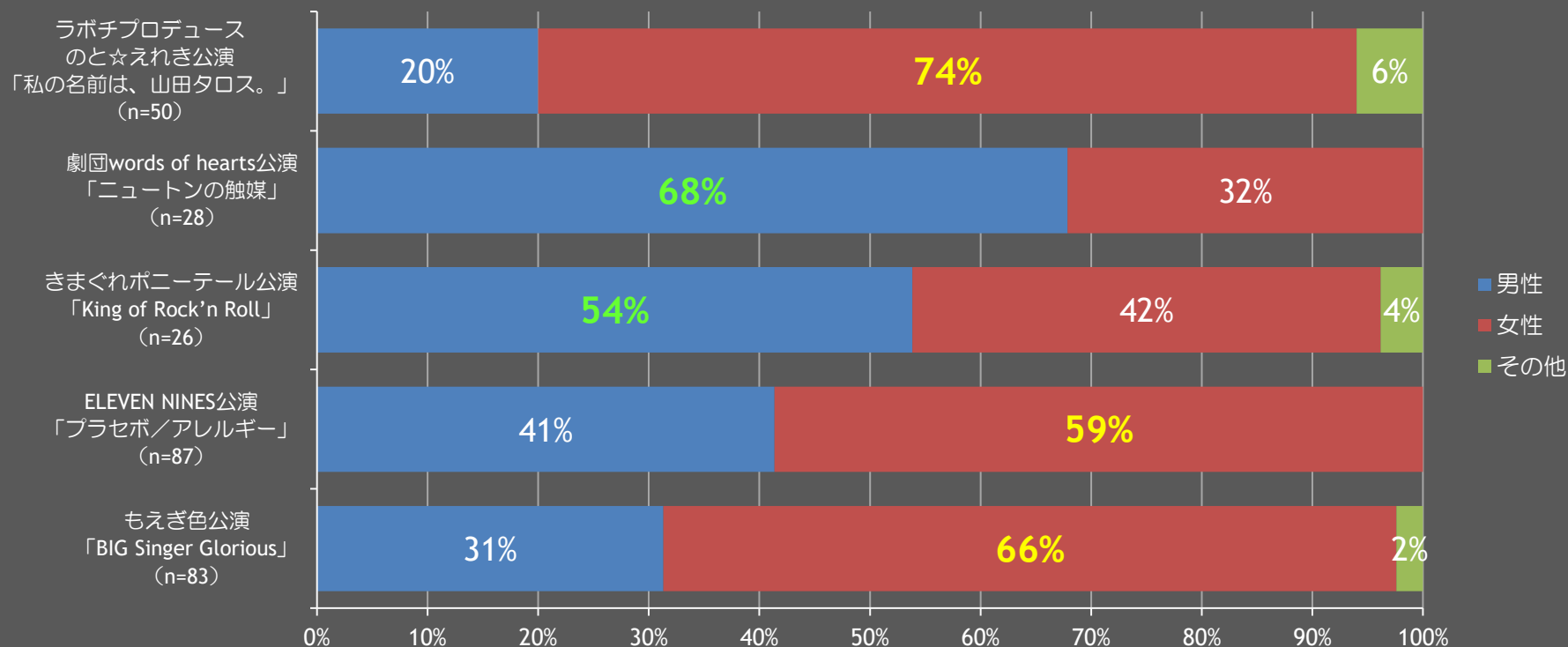
作品別にみる札幌演劇シーズンの観賞経験

「私の名前は、山田タロス。」・「ニュートンの触媒」は「20作品以上」の観劇経験がある人が多いが、「プラセボ/アレルギー」・「BIG Singer Glorious」においては「今回がはじめて」の観劇となる人が多かった



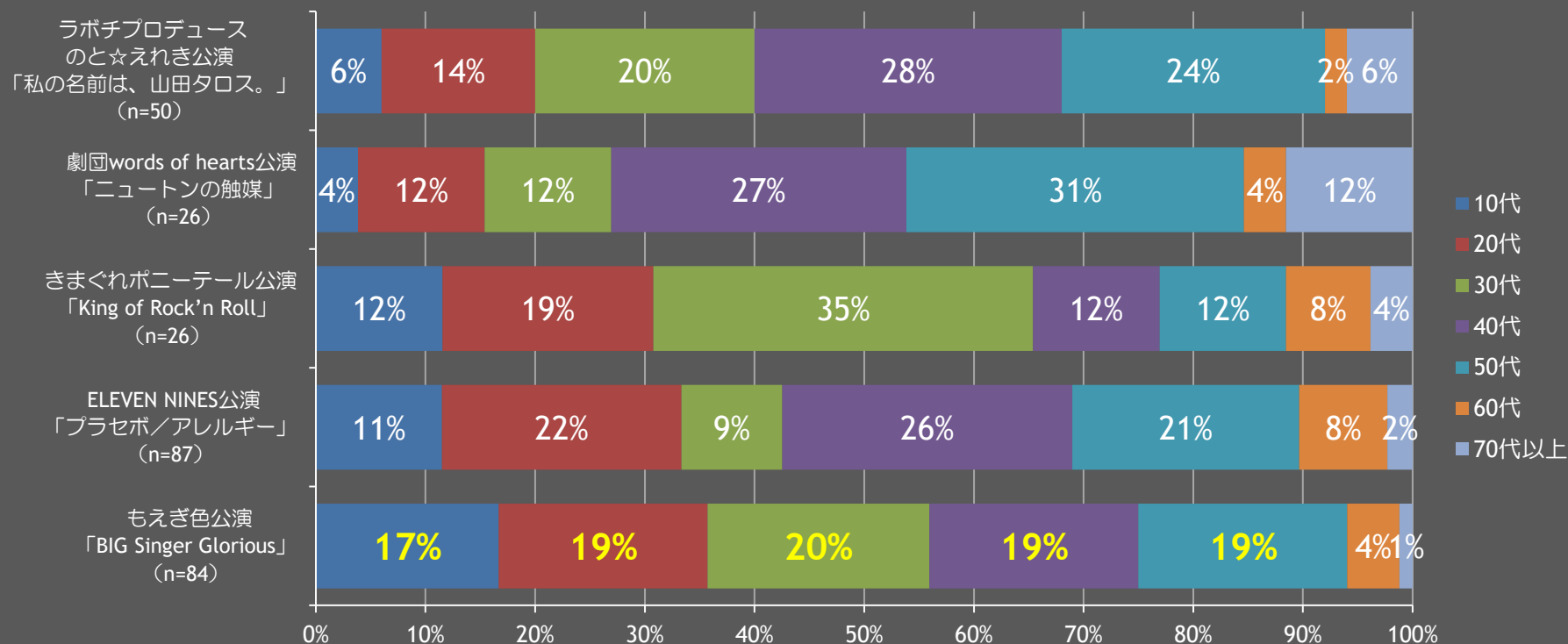
作品別にみる性別の内訳

「私の名前は、山田タロス。」・「プラセボ／アレルギー」・「BIG Singer Glorious」は女性が多いが、「ニュートンの触媒」・「King of Rock'n Roll」は男性が多い



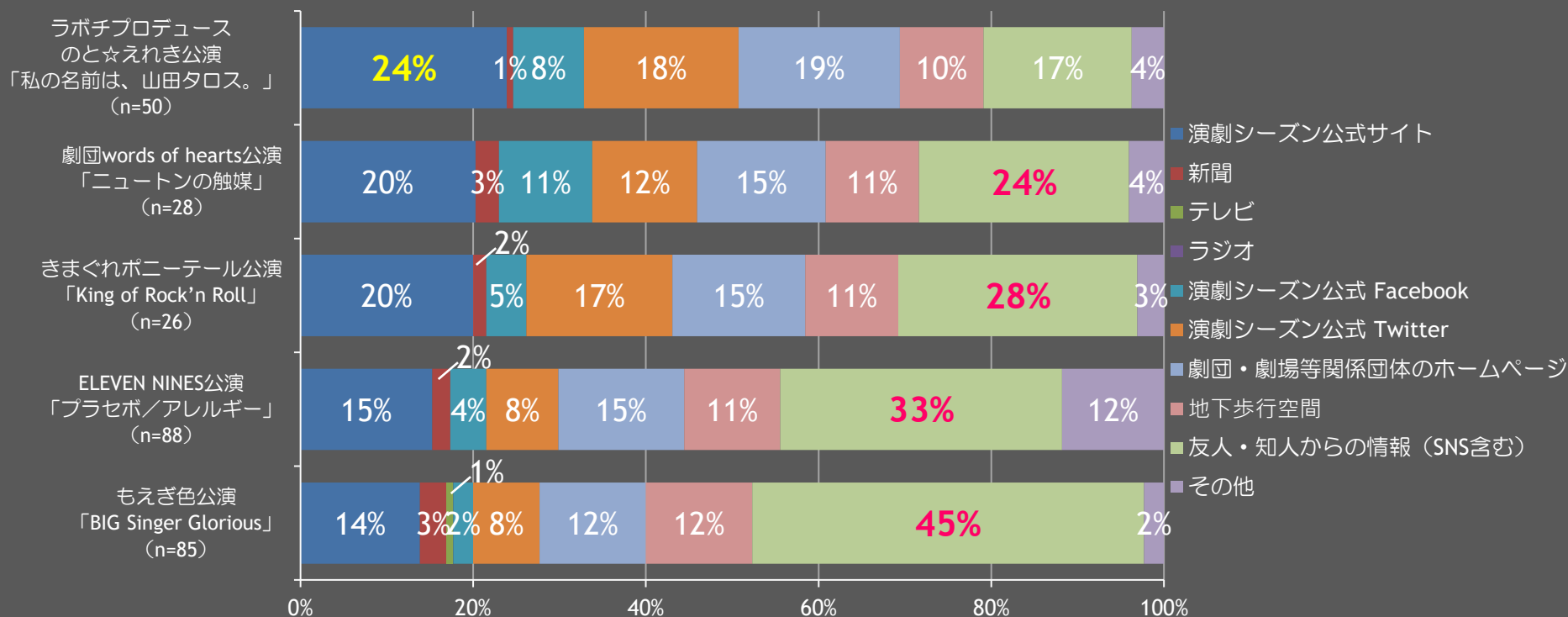
作品別にみる年代の内訳

「BIG Singer Glorious」は、50代以下において年齢層に偏りがなく鑑賞されている



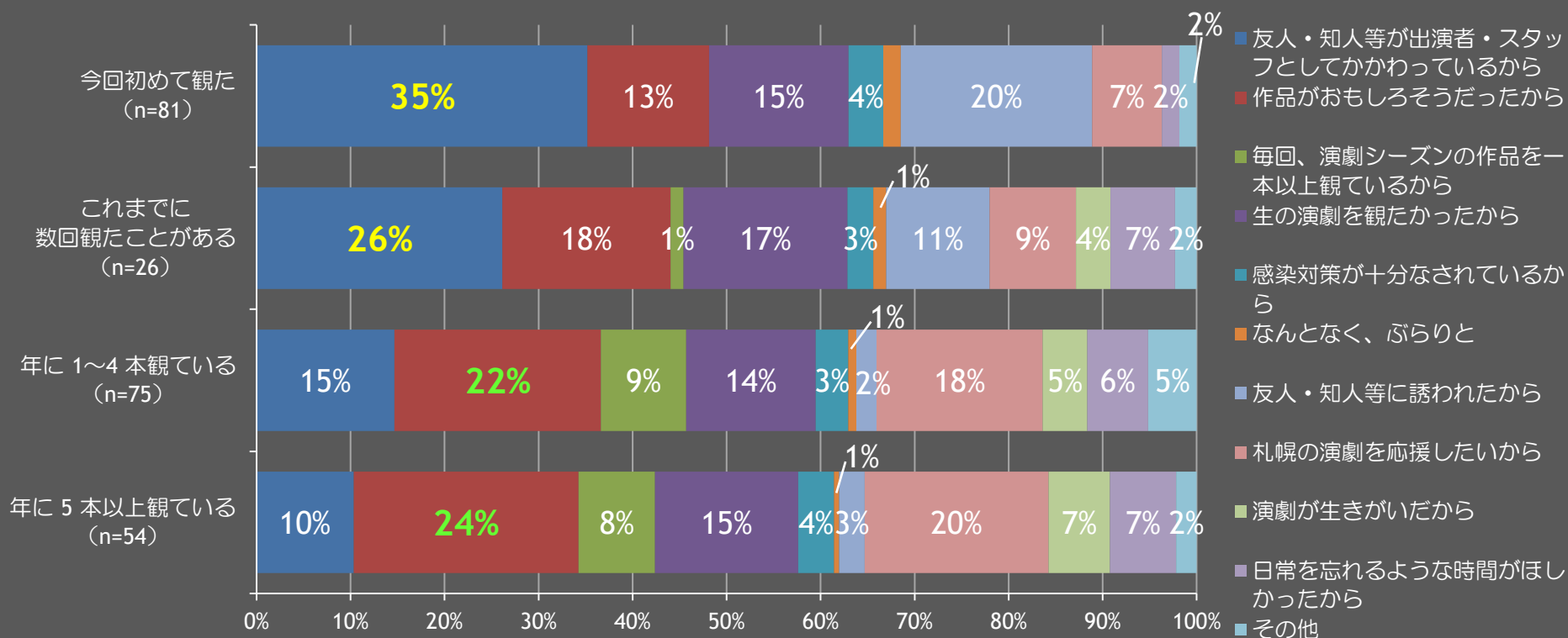
作品別にみる情報源

「私の名前は、山田タロス。」を観劇した人は「演劇シーズン公式サイト」が情報源の人が多いが、他の作品を観劇した人は「友人・知人からの情報（SNSを含む）」が情報源の人が多い



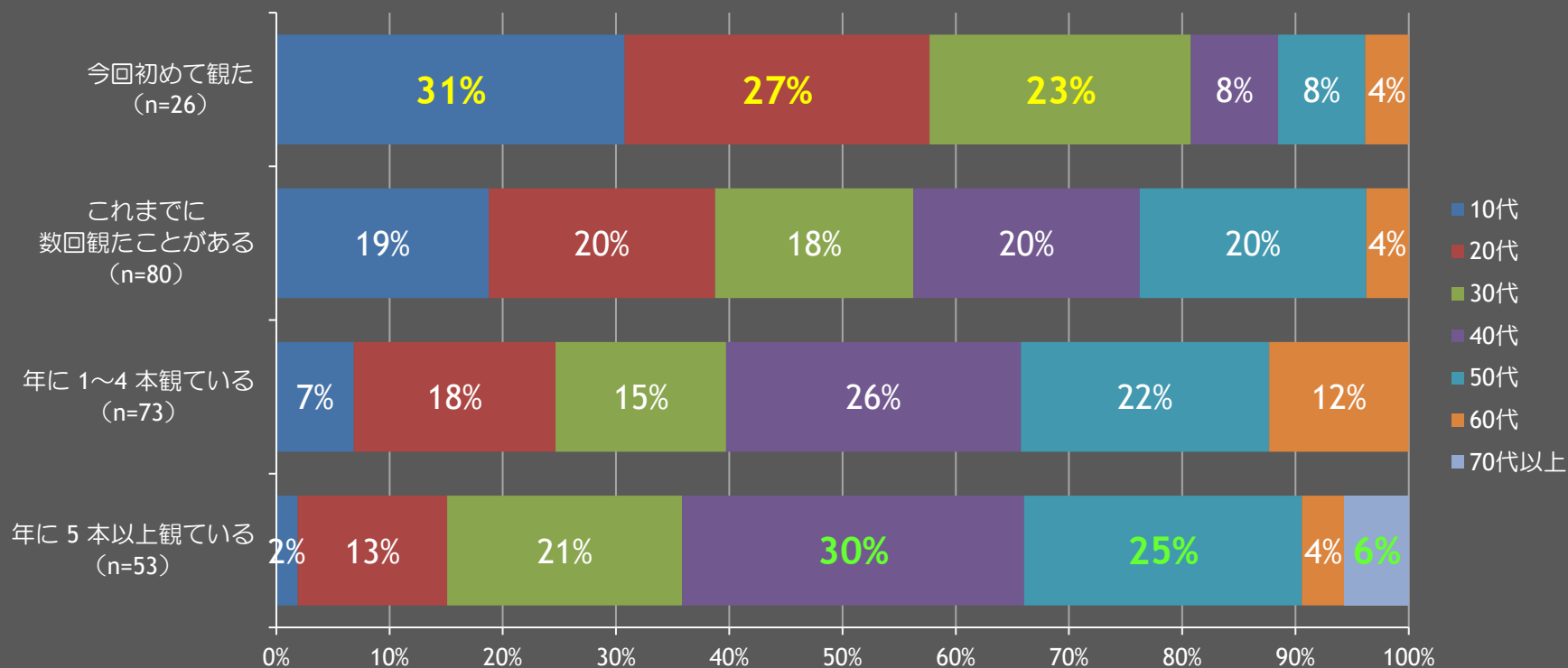
これまでの観劇経験別にみる来場動機

演劇を「今回初めて観た」・「これまでに数回観たことがある」人は「友人・知人等が出演者・スタッフとしてかかわっているから」という来場動機が多いが、「年に1~4本観ている」・「年に5本以上観ている」という人は「作品がおもしろそうだったから」という動機で来場している人が多い



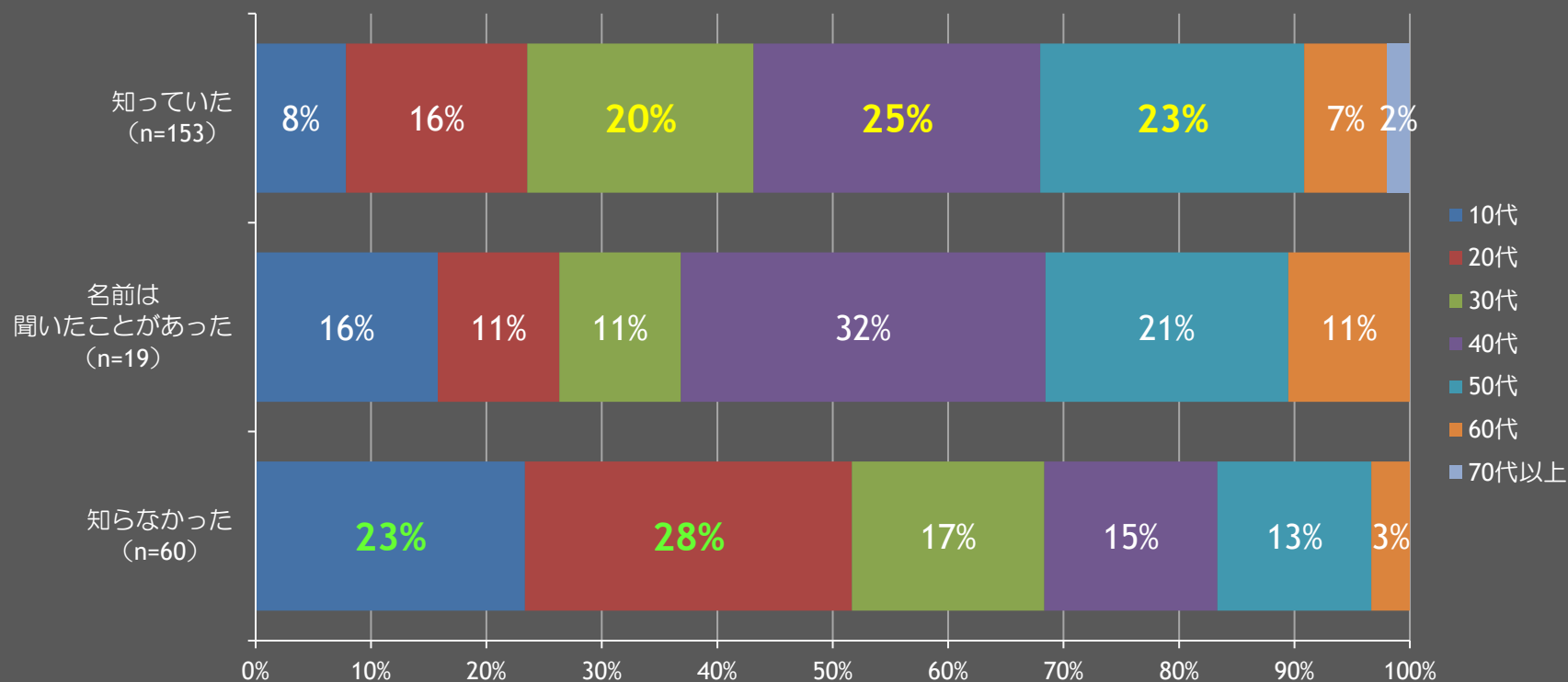
これまでの観劇経験別にみる年代の内訳

演劇を「今回初めて観た」人は10代から30代に多く、
「年に5本以上観ている」人は40代・50代・70代以上に多い



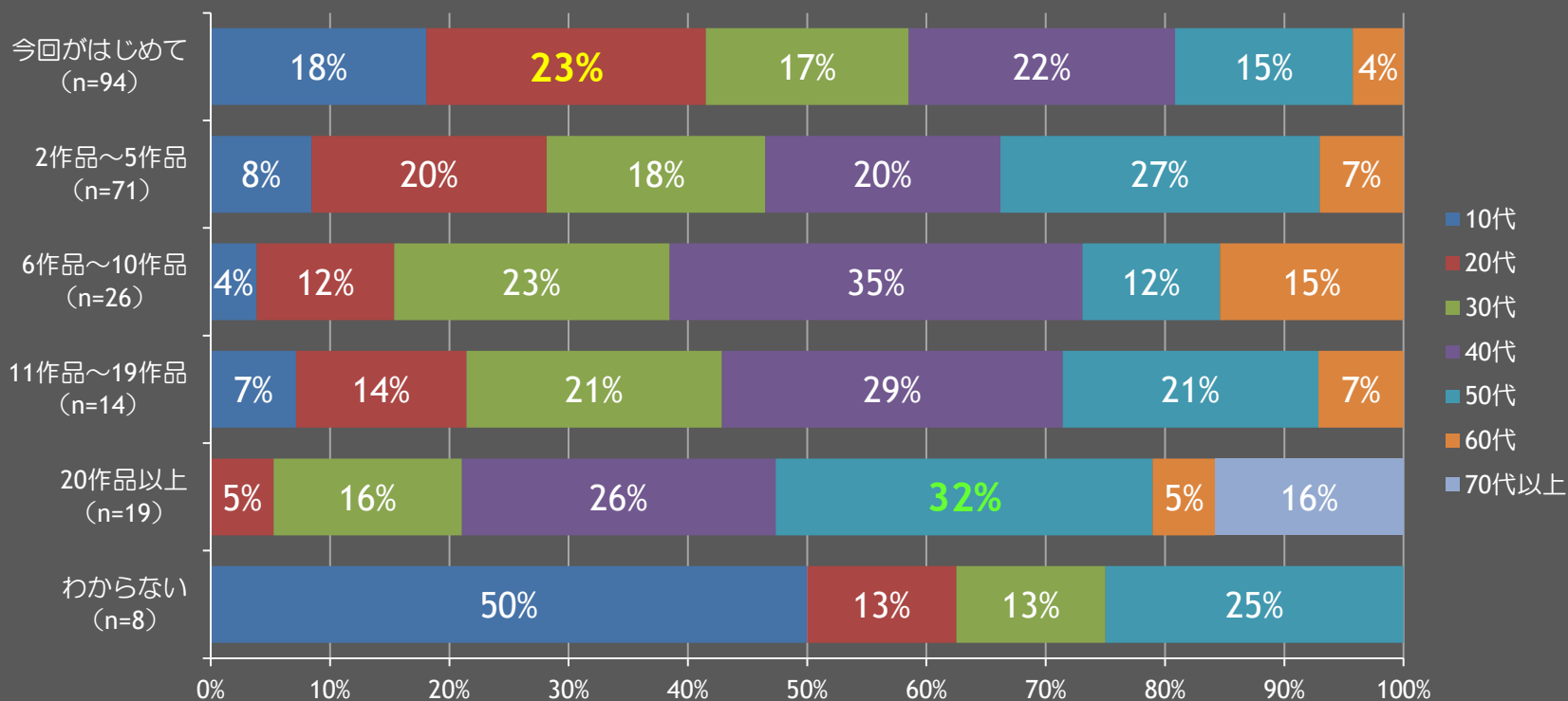
札幌演劇シーズンの認知度別にみる年代の内訳

「知らなかった」人が10代・20代合わせて51%であり、若い年代の人には認知度が低い



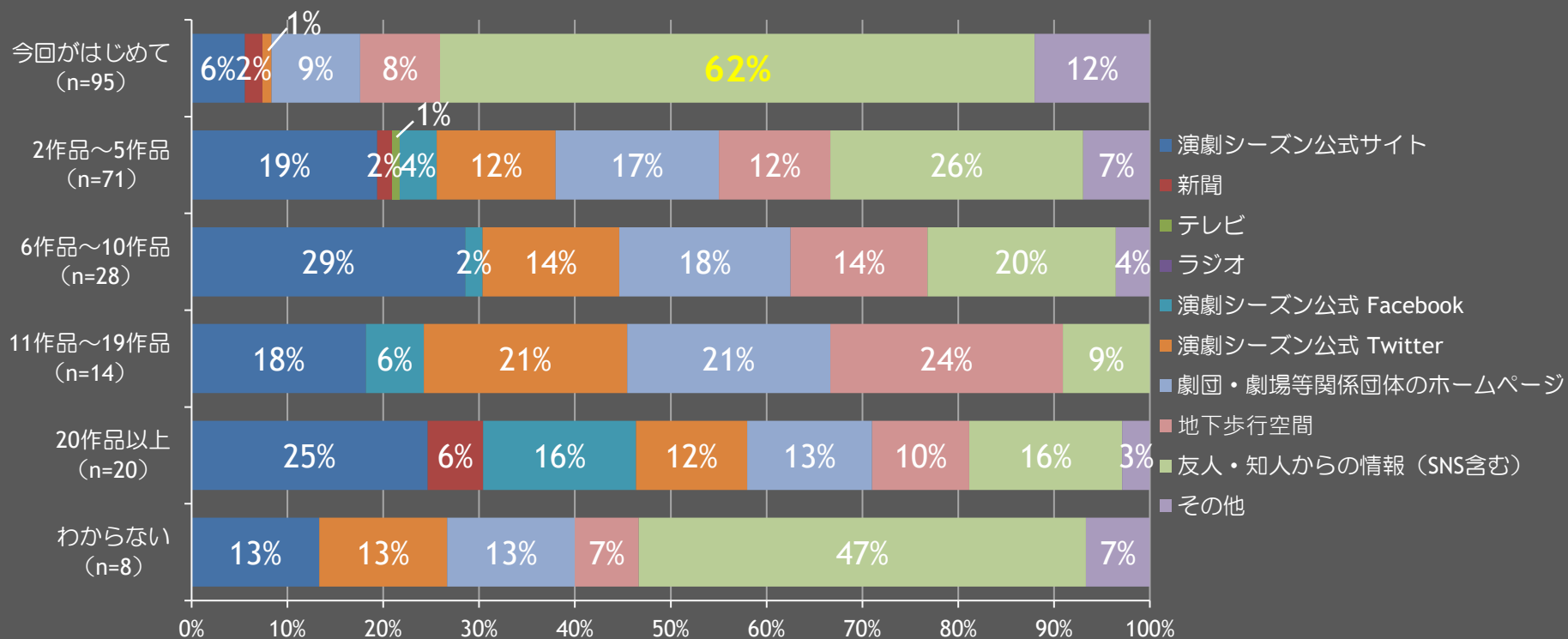
札幌演劇シーズンの鑑賞経験別に見る年代の内訳

札幌演劇シーズンが「はじめて」の人は20代と40代に多いが、
「20作品以上」の人は50代に多い



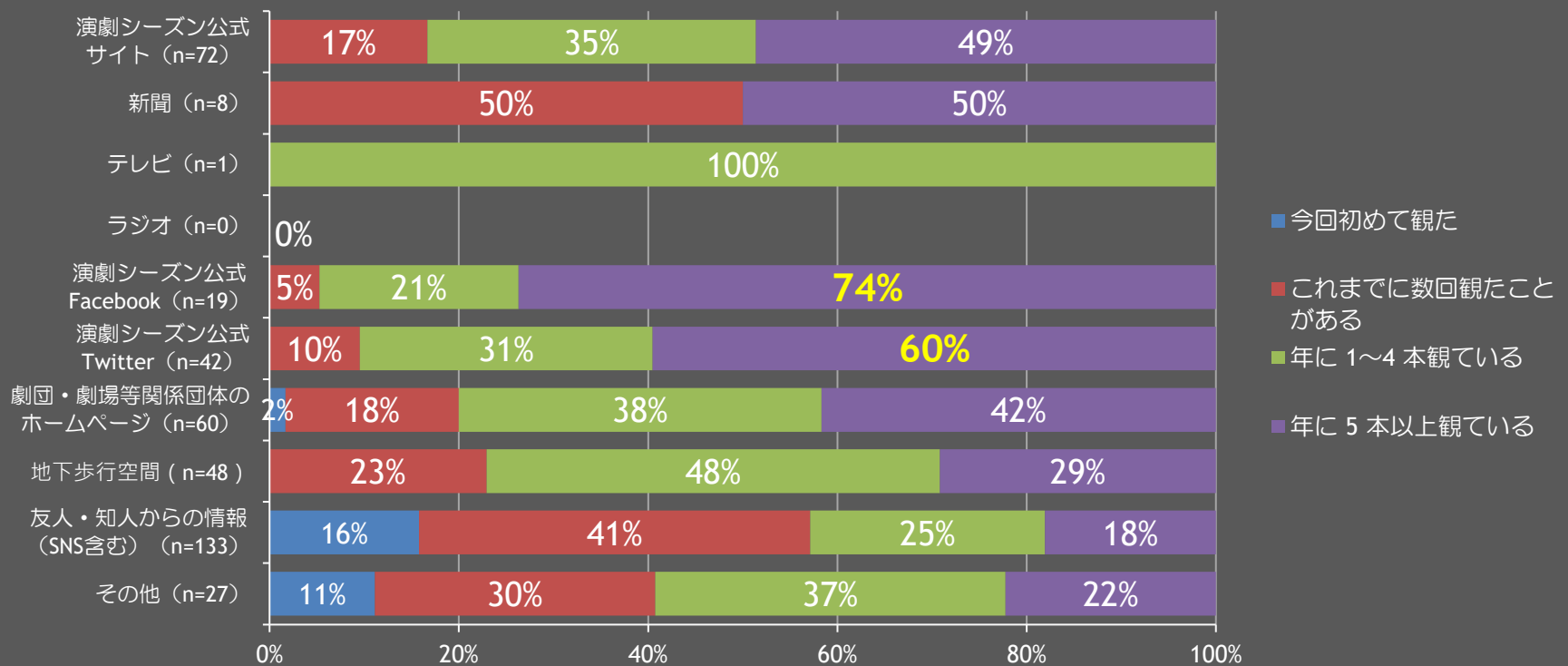
札幌演劇シーズンの鑑賞経験別にみる情報源

札幌演劇シーズンの鑑賞経験が「はじめて」の人は「友人・知人からの情報（SNS含む）」62%であり、圧倒的に重要な情報源となっている



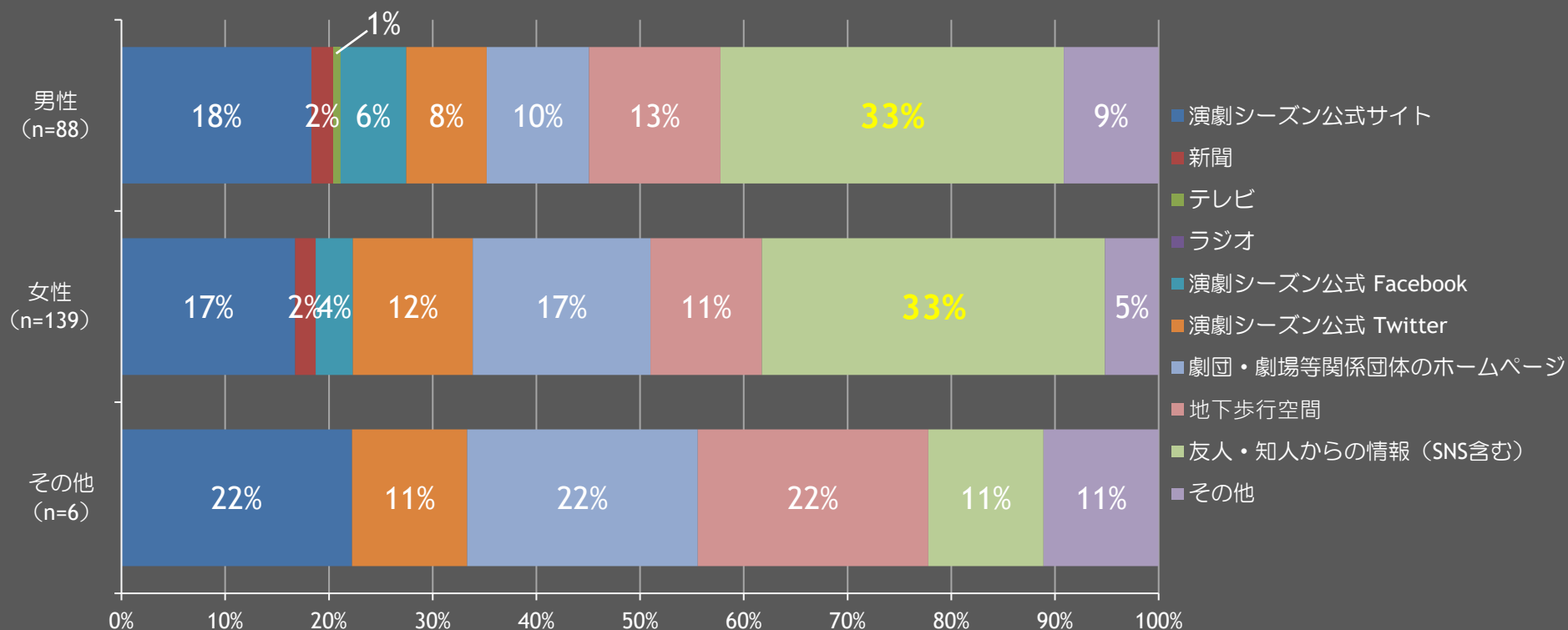
情報源別にみるこれまでの観劇経験

「演劇シーズン公式Facebook」や「演劇シーズン公式Twitter」を情報源としているのは、演劇を「年に5本以上」鑑賞している人が多い



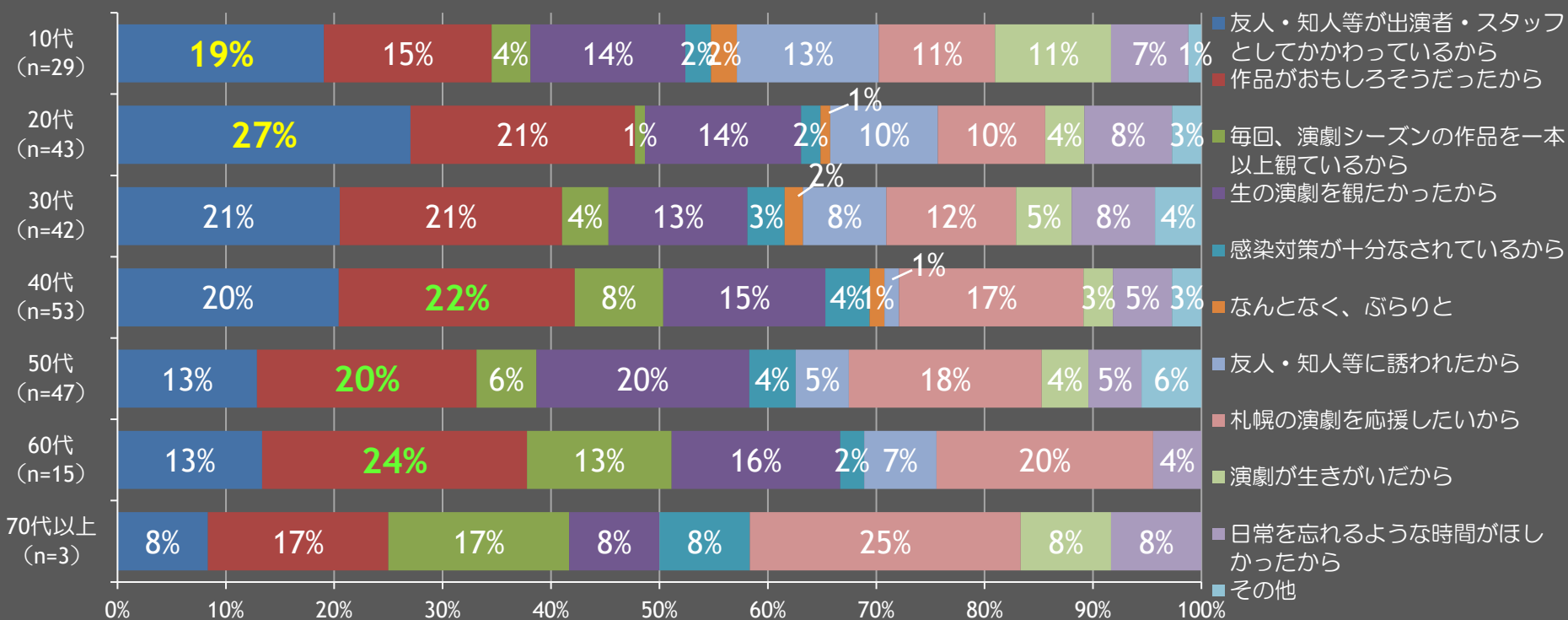
性別にみる札幌演劇シーズンの情報源

「男性」・「女性」とともに「友人・知人からの紹介（SNS含む）」が情報源になっている人が多い



年代別にみる来場動機

「10代」や「20代」には「友人・知人等が出演者・スタッフとしてかかわっているから」という動機が多いが、「40代」・「50代」・「60代」では「作品がおもしろそうだったから」という動機が多い



札幌演劇シーズン
SAPPORO ENGEKI SEASON